

OP

システム管理者ガイド

目次

| | | | |
|--|-----------|--|-----------|
| 商標 | 4 | EpsonNet Print (Windowsのみ) | 16 |
| | | EpsonNet SetupManager | 16 |
| <hr/> | | | |
| マニュアルの見方 | 5 | セキュアなネットワークでプリンターを使う | 17 |
| マークの意味 | 5 | SSL/TLS通信を設定する | 17 |
| 掲載画面 | 5 | SSL/TLS通信の基本設定をする | 17 |
| OS表記 | 5 | プリンターのサーバー証明書を設定する | 18 |
| ご注意 | 6 | 利用するプロトコルやサービスを制御する | 19 |
| <hr/> | | | |
| 本書について | 7 | プロトコルを制御する | 19 |
| | | 利用するサービスを制御する | 20 |
| <hr/> | | | |
| はじめに | 8 | IPsec/IPフィルタリングを設定する | 21 |
| SSL/TLS通信 | 8 | IPsec/IPフィルタリングの概要 | 21 |
| 利用するプロトコルの制御 | 8 | 基本ポリシーを設定する | 21 |
| IP通信の暗号化と認証ネットワークへの接続 | 9 | 個別ポリシーを設定する | 23 |
| スキャンやファクスの宛先設定 | 9 | IPsec/IPフィルタリングの設定例 | 27 |
| 利用者制限と管理者パスワード | 10 | IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を 設定する | 28 |
| プリンター設定のエクスポート/インポート | 10 | SNMPv3プロトコルを利用する | 29 |
| <hr/> | | | |
| ネットワーク設定するソフトウェア | 11 | SNMPv3を設定する | 29 |
| Web Configの概要 | 11 | IEEE802.1X環境にプリンターを接続する | 31 |
| Web Configの起動 | 12 | IEEE802.1Xを設定する | 31 |
| EpsonNet Configの概要 | 13 | IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する | 33 |
| EpsonNet Configの使用 - Windows | 14 | プリンターのIEEE802.1X状態表示 | 34 |
| EpsonNet Configのインストール - Windows ... | 14 | 電子証明書を使う | 35 |
| EpsonNet Configの起動 - Windows | 14 | プリンターで使用できる電子証明書 | 35 |
| EpsonNet Configのアンインストール - Windows | 14 | CA署名証明書の取得とインポート | 35 |
| EpsonNet Configの使用 - Mac OS X | 14 | CA署名証明書を削除する | 39 |
| EpsonNet Configのインストール - Mac OS X | 14 | 自己署名証明書を更新する | 39 |
| EpsonNet Configの起動 - Mac OS X | 14 | 相手サーバー検証用CA証明書を設定する | 40 |
| EpsonNet Configのアンインストール - Mac OS X | 14 | <hr/> | |
| Web ConfigとEpsonNet Configの機能差 | 15 | スキャンやファクスの宛先を設定する | 43 |
| その他のネットワーク関連ソフトウェア | 16 | 宛先設定の概要 | 43 |
| | | アドレス帳の設定 | 43 |
| | | 設定ツールによる宛先設定機能差 | 43 |
| | | 宛先を登録する | 44 |
| | | 宛先をグループに登録する | 46 |
| | | LDAPサーバーの設定 | 47 |
| | | LDAPサーバーを設定する | 47 |
| | | LDAPサーバーの検索属性を設定する | 48 |
| | | LDAPサーバーとの接続を確認する | 50 |

商標

- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac OS、OS X、Bonjour、Safariは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。AirPrint は、Apple Inc.の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

© 2015 Seiko Epson Corporation.All rights reserved.

マニュアルの見方

マークの意味

△ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

➔ 関連情報

関連したページにジャンプします。

掲載画面

- 画面やイラストの詳細はお使いのプリンターとは異なることがありますが、操作方法は同じです。
 - 画面はWindows 7での表示画面を使用しています。OSやバージョンにより異なることがあります。
 - 機種や設定状況により画面の設定項目は異なることがあります。
-

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版

- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版

Mac OS X

本書では、OS X Yosemiteを「Mac OS X v10.10.x」、OS X Mavericksを「Mac OS X v10.9.x」、OS X Mountain Lionを「Mac OS X v10.8.x」と表記しています。また、「Mac OS X v10.10.x」「Mac OS X v10.9.x」「Mac OS X v10.8.x」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.x」「Mac OS X v10.5.8」の総称として「Mac OS X」を使用しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

© 2015 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.

本書について

本書はEpson Open Platform用のファームウェアアップデートにより、プリンターのWeb Configが更新された情報を含みます。更新後はプリンターに付属の『システム管理者ガイド』と差し替えてお使いください。

Epson Open Platformを有効にすると、Web Configにこれらのメニューが追加されます。詳細はEpson Open Platformのマニュアルをご覧ください。

はじめに

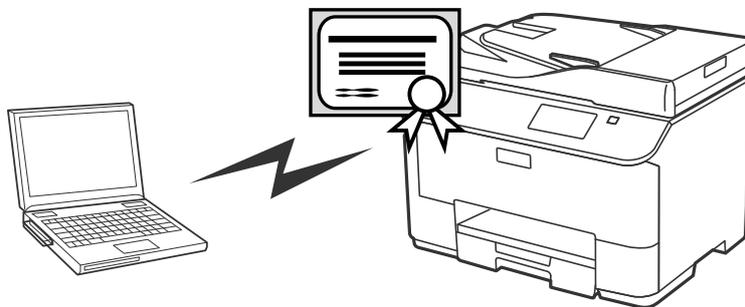
本書はエプソン製ネットワーク対応インクジェットプリンターまたは複合機用の、ネットワークシステム管理者向けマニュアルです。システム管理者とは、機器の環境設定やクライアント管理、ネットワークプリンターやコンピューターへのアクセス権の付与などを行う権限を持つ人を指します。システム管理者が設定する内容を扱うため、詳しい操作手順や用語の解説などはありません。ネットワークやコンピューターに関する知識がある前提で説明しています。プリンターの高度なネットワーク設定をするためのソフトウェアには、Web ConfigとEpsonNet Configがあります。本書ではWeb Configでの設定手順を案内しています。EpsonNet Configでの操作方法はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。掲載しているOSのメニュー項目は、Windows7またはMac OS X v10.10.xの表示に準拠しています。

参考 システム管理の機能を設定する前に、プリンターのネットワーク設定を行ってください。ネットワーク設定の詳細は、プリンターのマニュアルまたは本書の付録をご覧ください。

エプソン製品でサポートしているシステム管理機能は以下です。ただし、プリンターによっては使えない機能があります（使えない機能は、プリンターのメニューやソフトウェアの設定項目に表示されません）。プリンターのマニュアルで使える機能を確認してください。

SSL/TLS通信

SSL/TLS（Secure Sockets Layer/Transport Layer Security）通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。



関連情報

➔ [「SSL/TLS通信を設定する」 17ページ](#)

利用するプロトコルの制御

複合機は、印刷、スキャン、PC-FAX送信時にさまざまなプロトコルで通信します。各プロトコルに個別に許可・禁止を設定してプロトコルを制御することで、意図されない利用によるセキュリティリスクを未然に防げます。

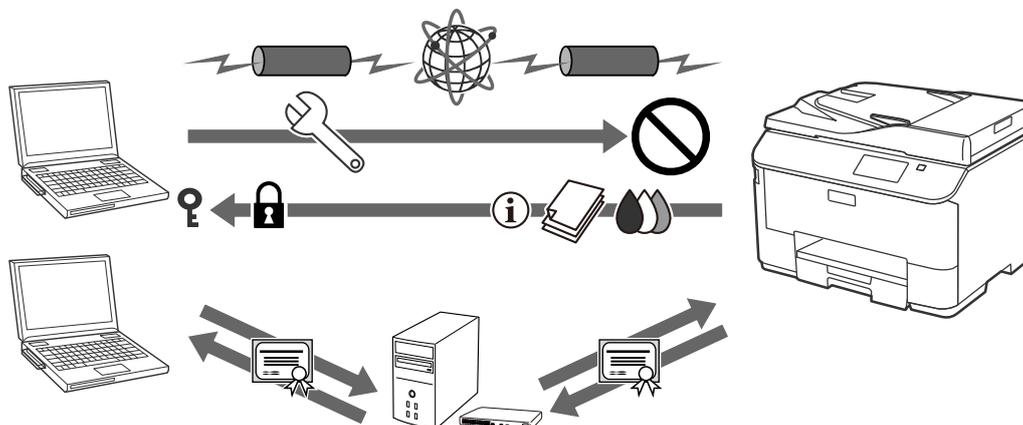
関連情報

➔ [「利用するプロトコルやサービスを制御する」 19ページ](#)

➔ [「プロトコルを設定する」 58ページ](#)

IP通信の暗号化と認証ネットワークへの接続

プリンターとの通信を暗号化したり、アクセスを制限したりします。通信の傍受やデータの改ざんを防ぎたいときは [IPsec/IPフィルタリング] やSNMPv3プロトコルを設定します。プリンターへのアクセスを認証したいときはIEEE802.1Xを使います。

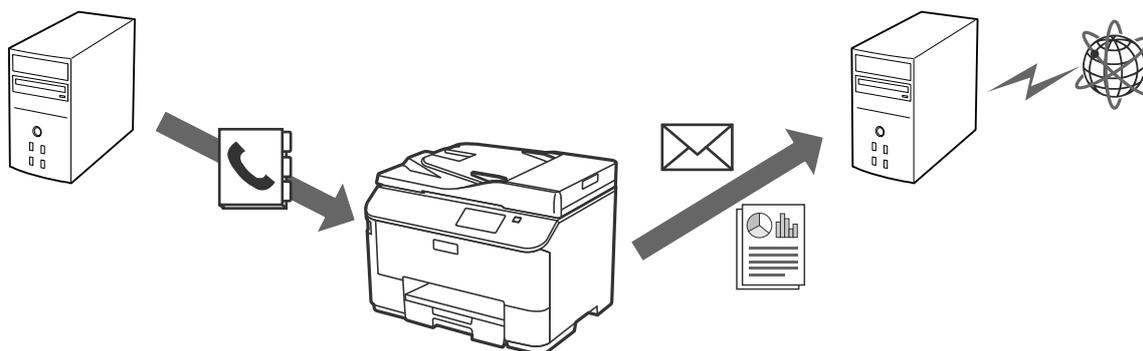


関連情報

- ➔ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」 21ページ](#)
- ➔ [「SNMPv3プロトコルを利用する」 29ページ](#)
- ➔ [「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」 31ページ](#)

スキャンやファクスの宛先設定

スキャンやファクスの宛先に、LDAPサーバーの情報を利用できます。スキャンデータや受信ファクスをメールで送信したいときや、ファクスの誤送信を防ぎたいときにメールサーバーやLDAPサーバーを設定します。



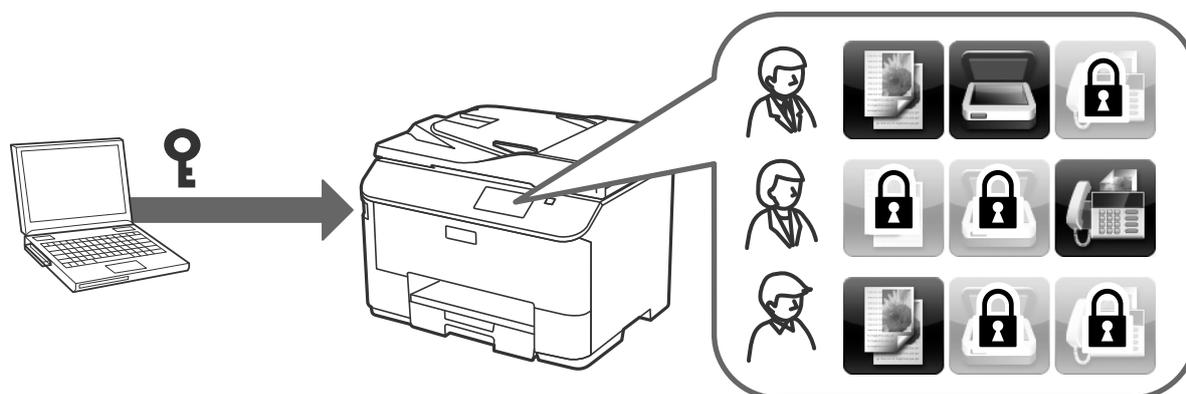
関連情報

- ➔ [「LDAPサーバーの設定」 47ページ](#)
- ➔ [「メールサーバーの設定」 51ページ](#)

利用者制限と管理者パスワード

プリンターの機能を利用者ごとに制限できます。ある人（グループ）はコピーとスキャン機能、またある人（グループ）はコピーのみ利用できるように設定できます。

管理者パスワードを設定すると、プリンターの設定の変更が管理者にしかできなくなります。セキュリティ強化のため、管理者パスワードの設定をお勧めします。



関連情報

- ➔ [「利用者制限の概要」 56ページ](#)
- ➔ [「管理者パスワードを設定する」 58ページ](#)

プリンター設定のエクスポート/インポート

プリンターの設定をエクスポート/インポートできます。プリンター設定を別のプリンターにコピーしたい場合や、プリンターの置き換え時にご利用ください。

関連情報

- ➔ [「Web Config設定のエクスポートとインポート」 71ページ](#)

ネットワーク設定するソフトウェア

Web Configの概要

Web Configはプリンターの設定確認や変更がブラウザ上でできるアプリケーションソフトです。
Web Configを使用するには、予めプリンターにIPアドレスを設定しておく必要があります。

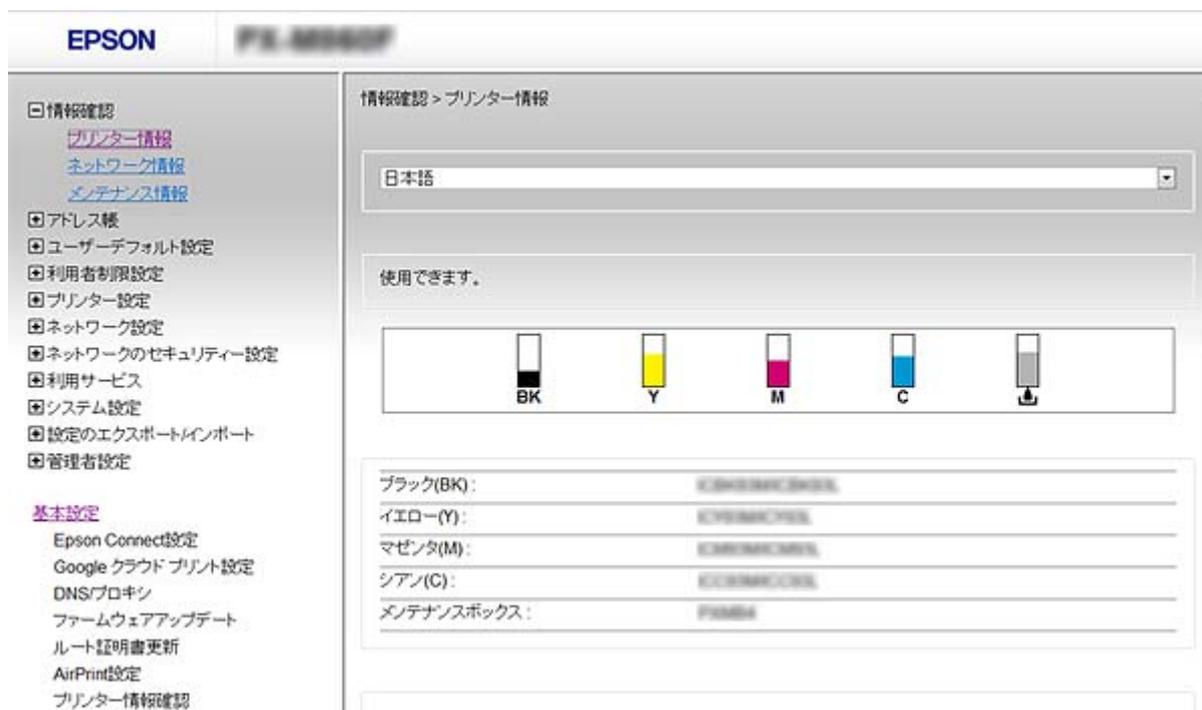
参考 プリンターに管理者パスワードを設定すると、管理者以外が設定を変更できないようにロックできます。

以下の設定ページがあります。

- [基本設定]
プリンターの基本機能の設定ができます。



- [詳細設定]
プリンターの詳細設定ができます。主に管理者が使用するページです。



関連情報

- ➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 15ページ](#)

Web Configの起動

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザを起動して、プリンターのIPアドレスを入力します。ブラウザのJavaScriptを有効にしてください。なお、HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザに警告が表示されます。

- HTTPSアクセス
IPv4 : <https://<プリンターのIPアドレス>> (<>は除く)
IPv6 : [https://\[プリンターのIPアドレス\]](https://[プリンターのIPアドレス]) ([]を含む)
- HTTPアクセス
IPv4 : <http://<プリンターのIPアドレス>> (<>は除く)
IPv6 : [http://\[プリンターのIPアドレス\]](http://[プリンターのIPアドレス]) ([]を含む)

参考

- 記入例
IPv4:
https://192.168.100.201/
http://192.168.100.201/
IPv6:
https://[2001:db8::1000:1]/
http://[2001:db8::1000:1]/
- DNSにプリンター名を登録すると、IPアドレスの代わりにプリンター名が使用できます。
- HTTPで起動したWeb Configでは一部のメニューしか表示されません。HTTPSで起動すると全てのメニューが表示されます。
- EpsonNet ConfigからもWeb Configが起動できます。リスト画面でプリンターを選択して【ブラウザの起動】をクリックしてください。

関連情報

- ➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 15ページ](#)
- ➔ [「SSL/TLS通信を設定する」 17ページ](#)
- ➔ [「電子証明書を使う」 35ページ](#)

EpsonNet Configの概要

EpsonNet Configは、IPアドレスのアサインや接続形態の変更などプリンターのネットワーク設定ができるアプリケーションソフトです。Windows版はバッチファイルを使用して複数台のプリンターを同時に設定できます。詳細はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。



関連情報

- ➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 15ページ](#)

EpsonNet Configの使用 - Windows

EpsonNet Configのインストール - Windows

プリンターに付属のソフトウェアディスクをセットし、以下のフォルダーにあるインストーラーを起動して画面の指示に従ってインストールしてください。

¥Network¥EpsonNetConfig

EpsonNet Configの起動 - Windows

[すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config Vxx] から [EpsonNet Config] を選択します。

 **参考** Windowsファイアウォールの警告画面が表示された場合は、EpsonNet Configを例外のプログラムに登録してください。

関連情報

➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 15ページ](#)

EpsonNet Configのアンインストール - Windows

[コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムと機能] - [プログラムのアンインストール] から [EpsonNet Config Vxx] を選択し、[アンインストール] をクリックしてください。

EpsonNet Configの使用 - Mac OS X

EpsonNet Configのインストール - Mac OS X

EPSON Software Updaterからダウンロードして、画面に従ってインストールしてください。

EpsonNet Configの起動 - Mac OS X

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config Vxx] から [EpsonNet Config] を選択します。

関連情報

➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 15ページ](#)

EpsonNet Configのアンインストール - Mac OS X

Uninstallerを使います。UninstallerはEPSON Software Updater、またはエプソンのホームページからダウンロードしてください。

Uninstallerを起動すると、インストールされているエプソン製アプリケーションソフトが一覧表示されます。EpsonNet Configを選択し、画面の指示に従ってアンインストールしてください。

参考 Uninstallerがない場合は、【アプリケーション】フォルダーにあるプログラムフォルダーをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてください。

Web ConfigとEpsonNet Configの機能差

プリンターのネットワークインターフェイス設定や情報を表示するソフトウェアには、Web ConfigとEpsonNet Configがあります。

以下は、本書で説明している機能と両ソフトウェアの機能の比較です。

| 機能 | Web Config | EpsonNet Config |
|-----------------------------|------------|------------------|
| SSL/TLS通信の設定 | ○ | ○ |
| プリンターのサーバー証明書の設定 | ○ | ○ |
| IPsec/IPフィルタリングの設定 | ○ | ○ |
| SNMPv3の設定 | ○ | × |
| IEEE802.1X(有線LAN/無線LAN) の設定 | ○ | ○ |
| CA署名証明書の取得とインポート | ○ | × |
| 自己署名証明書の更新 | ○ | × |
| アドレス帳へ宛先の登録 | ○ | ○ |
| LDAPサーバーの設定 | ○ | ○ |
| メールサーバーの設定 | ○ | ○ |
| 利用者制限の設定 | ○ | ○ |
| 管理者パスワードの設定 | ○ | ○ |
| メール通知の設定 | ○ | × |
| 複数のデバイスへの一括設定 | × | ○ (Windowsのみ) |
| アドレス帳や設定のインポートとエクスポート | ○ | ○ |

関連情報

- ➔ [「Web Configの概要」 11ページ](#)
- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの概要」 13ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 14ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS X」 14ページ](#)

- ➔ [「SSL/TLS通信の基本設定をする」 17ページ](#)
- ➔ [「プリンターのサーバー証明書を設定する」 18ページ](#)
- ➔ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」 21ページ](#)
- ➔ [「SNMPv3プロトコルを利用する」 29ページ](#)
- ➔ [「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」 31ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書の取得とインポート」 35ページ](#)
- ➔ [「自己署名証明書を更新する」 39ページ](#)
- ➔ [「宛先を登録する」 44ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバーの設定」 47ページ](#)
- ➔ [「メールサーバーの設定」 51ページ](#)
- ➔ [「利用者制限の概要」 56ページ](#)
- ➔ [「管理者パスワードを設定する」 58ページ](#)
- ➔ [「メール通知を設定する」 70ページ](#)
- ➔ [「Web Config設定のエクスポートとインポート」 71ページ](#)

その他のネットワーク関連ソフトウェア

EpsonNet Print (Windowsのみ)

TCP/IP上でネットワーク印刷するためのソフトウェアです。以下のような機能や制限があります。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

- スプーラー画面にプリンターのステータスが表示できます。
- DHCP機能によって変更されたIPアドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所（別セグメント）のプリンターも使用できます。
- 印刷データの送信プロトコルが使い分けられます。
- IPv6アドレスには対応していません。

関連情報

- ➔ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 有線LAN」 72ページ](#)
- ➔ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 無線LAN」 73ページ](#)
- ➔ [「プリンタードライバーをインストールする - Windows」 75ページ](#)

EpsonNet SetupManager

ネットワークプリンターのドライバーやEPSONプリンターウィンドウ！3のインストールから印刷ポートの設定までを自動で実行するパッケージを作成するソフトウェアです。

印刷環境の異なるプリンタードライバーのパッケージを一括して作成できるため、プリンタードライバーの配布やインストール、設定など管理者が行う印刷環境構築作業を大幅に軽減できます。

詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

セキュアなネットワークでプリンターを使う

エプソン製プリンターが対応しているセキュリティー機能を説明します。お使いのプリンターによっては対応していない機能があります。対応しているかどうかはプリンターのマニュアルで確認してください。

SSL/TLS通信を設定する

SSL/TLS通信の基本設定をする

HTTPSサーバーに対応しているプリンターはSSL/TLSで通信できます。Web Configを使ったプリンターの設定や管理のための通信を安全に行えます。

基本設定では暗号強度とリダイレクト機能を設定します。

1. Web Configで [ネットワークのセキュリティー設定] - [SSL/TLS] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
 - [暗号強度]
暗号の強度を選択できます。
 - [HTTPをHTTPSにリダイレクト]
HTTPでのアクセス時に、HTTPSにリダイレクトをします。



3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。

4. **【設定】** をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

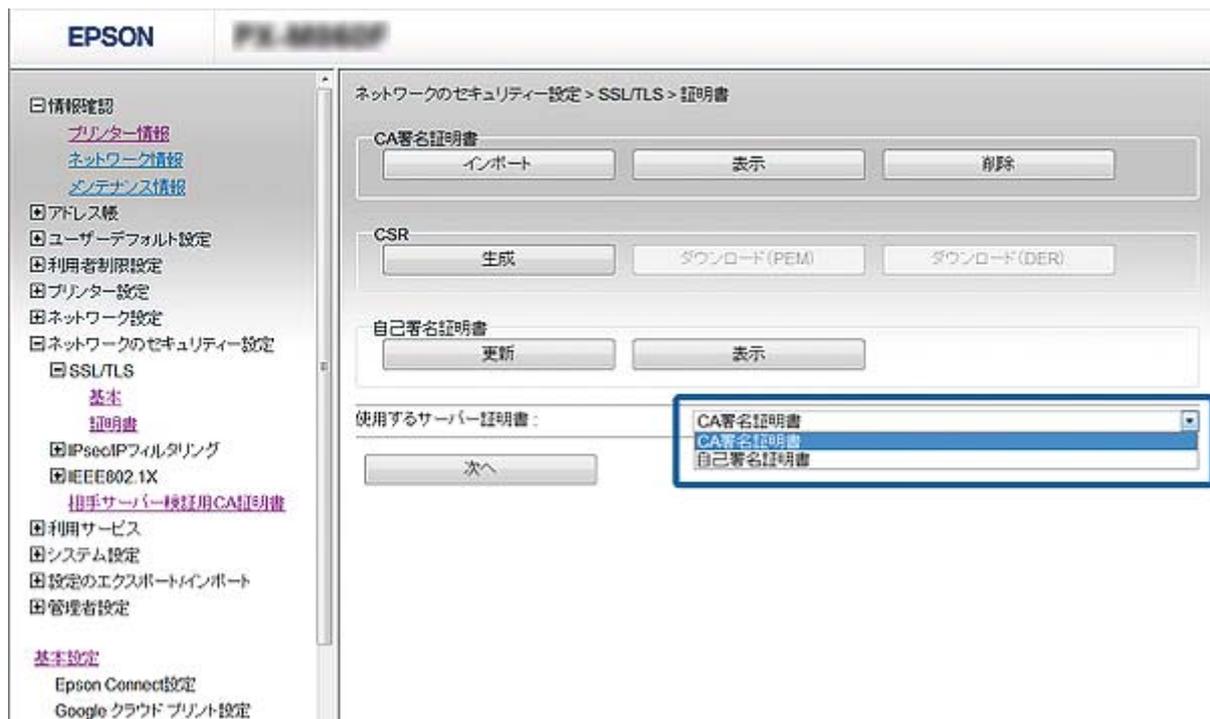
➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

プリンターのサーバー証明書を設定する

1. Web Configで **【ネットワークのセキュリティー設定】** - **【SSL/TLS】** - **【証明書】** を選択します。

2. **【使用するサーバー証明書】** に使用する電子証明書を選択します。

- **【自己署名証明書】**
プリンターに内蔵されている自己署名証明書です。CA署名証明書を取得していない場合は選択してください。
- **【CA署名証明書】**
プリンターにCA署名証明書をインポートすると選択できます。



3. **【次へ】** をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. **【設定】** をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

➔ [「CA署名証明書の取得とインポート」 35ページ](#)

利用するプロトコルやサービスを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。また、複合機であればネットワークスキャンやPC-FAXが不特定多数のコンピューターから利用可能になります。例えば、特定の経路やプロトコルの印刷だけを許可したり、ネットワークスキャンやPC-FAXを利用できるようにしたりできます。使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスや印刷などのセキュリティーリスクを軽減できます。

プロトコルを制御する

プリンターが対応している制御可能なプロトコルの設定をします。

1. Web Configで [利用サービス] - [プロトコル] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [次へ] をクリックします。
4. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

有効・無効が設定可能なプロトコル

| プロトコル | 説明 |
|-------------------|--|
| Bonjour設定 | Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索や印刷（AirPrint）などに使われます。 |
| SLP設定 | SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンプリンターではプッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。 |
| WSD設定 | WSD機能の有効・無効が設定できます。WSDデバイスの追加やWSDポートからの印刷、スキャンができるようになります。 |
| LLTD設定 | LLTDの有効・無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。 |
| LLMNR設定 | LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。 |
| LPR設定 | LPR印刷を許可するかを指定できます。有効にするとLPRポートからの印刷ができるようになります。 |
| RAW (Port9100) 設定 | RAWポート (Port9100) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート (Port9100) からの印刷ができるようになります。 |
| IPP設定 | IPPからの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとインターネット経由の印刷（AirPrintを含む）ができるようになります。 |
| FTP設定 | FTP印刷を許可するかを指定できます。有効にするとFTPサーバーからの印刷ができるようになります。 |

| プロトコル | 説明 |
|--------------|--|
| SNMPv1/v2c設定 | SNMPv1/v2cの有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは機器の設定や監視などに使われます。 |

利用するサービスを制御する

ネットワークファイル共有やネットワークスキャンなどのサービスの有効・無効を設定します。

1. Web Configで [利用サービス] を選択します。
2. 設定する項目を選択し、有効・無効を設定します。
設定できる項目はプリンターによって異なります。
3. [次へ] をクリックします。
4. [設定] をクリックします。

有効・無効が設定可能なサービス

| サービス | 説明 |
|----------------------|---|
| MS Network | ネットワークファイル共有設定の有効・無効が指定できます。有効にするとプリンターの外部メモリーなどがネットワーク接続しているコンピューターからフォルダーとして見えるようになります。ファイル共有プロトコルにSMB 2.0を利用している場合は、ユーザー認証情報を登録します。ファイル転送にユーザー認証が使えるアプリケーションソフトは、プリンターに指定した認証情報をアプリケーション側にも登録してください。アプリケーションソフトはエプソンのホームページから最新版をダウンロードして利用してください。 |
| ネットワークスキャン | ネットワークスキャンを使用するかを指定できます。有効にするとネットワーク接続しているコンピューターからスキャナーが利用できます。 |
| Document Capture Pro | Document Capture ProがインストールされたコンピューターのOSに合わせて動作モードを選択できます。 [クライアントモード] : 個々のコンピューターで設定されたDocument Capture Proの動作に合わせてスキャンができます。 [サーバーモード] : サーバー上のDocument Capture Proで設定された動作に合わせてスキャンができます。こちらを選択した場合は、[サーバーアドレス] も併せて設定します。 |
| PC-FAX | PC-FAXを使用するかを指定できます。有効にするとコンピューターからファクスを送信できるようになります。 |
| Wi-Fi Direct | Wi-Fi Direct機能の有効・無効が指定できます。有効にすると機器からのWi-Fi Direct接続ができるようになります。 |

IPsec/IPフィルタリングを設定する

IPsec/IPフィルタリングの概要

IPsec/IPフィルタリング機能を搭載したプリンターでは、IPアドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsecと組み合わせることによってさらに強固なセキュリティー通信ができます。フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはプリンターにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。個別ポリシーは、プリンターへの各アクセスに適用されるルールです。IPパケットを受け取ったプリンターはポリシーを参照し、IPパケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー1、個別ポリシー2と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

 **参考** Windows Vista以降またはWindows Server 2008以降のWindowsは、IPsecに対応しています。

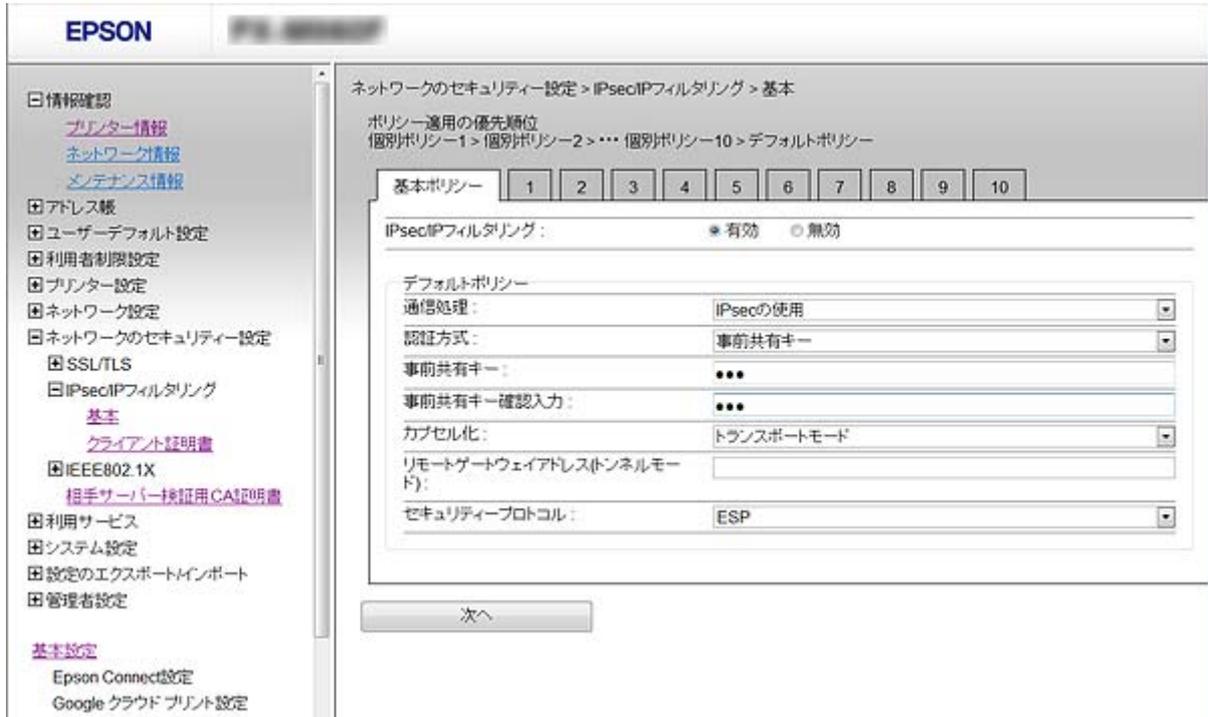
基本ポリシーを設定する

1. Web Configで【ネットワークのセキュリティー設定】 - 【IPsec/IPフィルタリング】 - 【基本】を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 【次へ】をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. 【設定】をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「基本ポリシーの設定項目」 22ページ](#)

基本ポリシーの設定項目



| アイテム | 設定値と説明 | |
|-----------------|--|--|
| IPsec/IPフィルタリング | IPsec/IPフィルタリング機能を有効または無効にします。 | |
| 通信処理 | 通信を通過 | IPパケットの通過を許可するときに選択します。 |
| | 通信を遮断 | IPパケットを遮断したいときに選択します。 |
| | IPsecの使用 | IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。 |
| 認証方式 | CA署名証明書をインポートすると「証明書」が選択できるようになります。 | |
| 事前共有キー | 【認証方式】で【事前共有キー】を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーが設定できません。 | |
| 事前共有キー確認入力 | 確認のため、設定したキーをもう一度入力します。 | |
| カプセル化 | 【通信処理】で【IPsecの使用】を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。 | |
| | トランスポートモード | 主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。 |
| | トンネルモード | 主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 |

| アイテム | 設定値と説明 | |
|-------------------------|--|--|
| リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード) | [カプセル化] で [トンネルモード] を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。 | |
| セキュリティープロトコル | [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。 | |
| | ESP | 認証とデータの完全性の確保に加えてデータ全体を暗号化したときに選択します。 |
| | AH | 認証とデータの完全性を確保するために選択します。データは暗号化しないので、データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。 |

関連情報

➔ [「基本ポリシーを設定する」 21ページ](#)

個別ポリシーを設定する

1. Web Configで [ネットワークのセキュリティー設定] - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. 設定したい番号のタブをクリックします。
3. 各項目を設定します。
4. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
5. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

➔ [「個別ポリシーの設定項目」 24ページ](#)

個別ポリシーの設定項目



| アイテム | 設定値と説明 | |
|------------------|--|---------------------------------|
| この個別ポリシーを有効にする | 選択している個別ポリシーを有効または無効にします。 | |
| 通信処理 | 通信を通過 | IPパケットの通過を許可するときに選択します。 |
| | 通信を遮断 | IPパケットを遮断したいときに選択します。 |
| | IPsecの使用 | IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。 |
| | | |
| ローカルアドレス (プリンター) | お使いの環境に合ったIPv4アドレスまたはIPv6アドレスを選択します。プリンターのIPアドレスの取得方法が自動の場合は、[自動取得したIPv4アドレスを使用する]が選択できます。 | |
| リモートアドレス (ホスト) | 通信を制御する機器のIPアドレスを入力します。IPアドレスは0~43文字以内で入力してください。何も入力しないと、全てのIPアドレスが制御の対象になります。 参考 IPアドレスがDHCPや自動取得 (IPv6) の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPアドレスを設定してください。 | |
| ポート指定方法 | ポートの指定方法を設定します。 | |
| サービス名 | [ポート指定方法] で [サービス名] を選択した場合に設定します。 | |

セキュアなネットワークでプリンターを使う

| アイテム | 設定値と説明 | |
|-------------------------|--|--|
| トランスポートプロトコル | [ポート指定方法] で [ポート番号] を選択した場合に設定します。 | |
| | 全てのプロトコル | 全てのプロトコルタイプを制御したい場合に選択します。 |
| | TCP | ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。 |
| | UDP | ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。 |
| | ICMPv4 | pingコマンドを制御したい場合などに選択します。 |
| ローカルポート | [ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] か [UDP] を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。 設定例：20,80,119,5220 何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。 | |
| リモートポート | [ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] か [UDP] を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。 設定例：25,80,143,5220 何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。 | |
| 認証方式 | [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合に設定します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。 | |
| 事前共有キー | [認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーが設定できます。 | |
| 事前共有キー確認入力 | 確認のため、設定したキーをもう一度入力します。 | |
| カプセル化 | [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。 | |
| | トランスポートモード | 主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。 |
| | トンネルモード | 主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 |
| リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード) | [カプセル化] で [トンネルモード] を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。 | |
| セキュリティープロトコル | [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。 | |
| | ESP | 認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。 |
| | AH | 認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていますがIPsec通信ができます。 |

関連情報

➔ [「個別ポリシーを設定する」23ページ](#)

- ➔ 「ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組合せ」 26ページ
- ➔ 「個別ポリシーのサービス名一覧」 26ページ

ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組合せ

| | | ローカルアドレス（プリンター）の設定値 | | |
|-------------------|-----------------------------------|---------------------|--------------------|----------------------------|
| | | IPv4 | IPv6* ² | 使用可能な全てのアドレス* ³ |
| リモートアドレス（ホスト）の設定値 | IPv4* ¹ | ○ | × | ○ |
| | IPv6* ¹ * ² | × | ○ | ○ |
| | 空白 | ○ | ○ | ○ |

*1 「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、範囲指定はできません。

*2 「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合リンクローカルアドレス（fe80::）は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

*3 IPv6リンクローカルアドレスは除きます。

個別ポリシーのサービス名一覧

| サービス名 | プロトコルタイプ | ローカルポート番号 | リモートポート番号 | 制御できる機能 |
|-------------------|----------|-----------|-----------|---|
| 全て | - | - | - | 全てのサービス |
| ENPC | UDP | 3289 | 任意 | EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索 |
| SNMP | UDP | 161 | 任意 | EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定 |
| LPR | TCP | 515 | 任意 | LPRデータの転送 |
| RAW (Port9100) | TCP | 9100 | 任意 | RAWデータの転送 |
| IPP/IPPS | TCP | 631 | 任意 | AirPrint (IPP/IPPS印刷) のデータ転送 |
| WSD | TCP | 任意 | 5357 | WSDの制御 |
| WS-Discovery | UDP | 3702 | 任意 | WSDのプリンター探索 |
| Network Scan | TCP | 1865 | 任意 | Document Capture Proからのスキャンデータの転送 |
| Network Push Scan | TCP | 任意 | 2968 | Document Capture Proからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得 |

| サービス名 | プロトコルタイプ | ローカルポート番号 | リモートポート番号 | 制御できる機能 |
|-----------------------------|----------|-----------|-----------|---|
| Network Push Scan Discovery | UDP | 2968 | 任意 | Document Capture Proからのブッシュスキャン時のコンピューター探索 |
| FTP データ (ローカル) | TCP | 20 | 任意 | FTPサーバー (FTP印刷のデータ転送) |
| FTP 制御 (ローカル) | TCP | 21 | 任意 | FTPサーバー (FTP印刷の制御) |
| FTP データ (リモート) | TCP | 任意 | 20 | FTPクライアント (スキャンデータまたは受信ファクスのFTP転送) ただし、制御できるのは20番のリモートポート番号を使用するFTPサーバーとのみ |
| FTP 制御 (リモート) | TCP | 任意 | 21 | FTPクライアント (スキャンデータや受信ファクスのFTP転送の制御) |
| CIFS (ローカル)* | TCP | 445 | 任意 | CIFSサーバー (ネットワークフォルダー共有) |
| CIFS (リモート)* | TCP | 任意 | 445 | CIFSサーバー (スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送) |
| HTTP (ローカル) | TCP | 80 | 任意 | HTTP(S)サーバー (Web ConfigやWSDのデータ転送) |
| HTTPS (ローカル) | TCP | 443 | 任意 | |
| HTTP (リモート) | TCP | 任意 | 80 | HTTP(S)クライアント (Epson ConnectやGoogle クラウド プリントの通信、ファームウェアアップデートやルート証明書の更新) |
| HTTPS (リモート) | TCP | 任意 | 443 | |

* スキャンデータまたは受信ファクスのフォルダー転送機能、ネットワークフォルダー共有機能、PC-FAX受信機能を制御するときは [ポート指定方法] を [サービス名] から [ポート番号] に変更し、CIFSとNetBIOSのポート番号を指定してください。

IPsec/IPフィルタリングの設定例

IPsecで保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーだけが使われます。

[基本ポリシー] :

- [IPsec/IPフィルタリング] : [有効]
- [通信処理] : [IPsecの使用]
- [認証方式] : [事前共有キー]
- [事前共有キー] : 1~127文字以内の任意文字

[個別ポリシー] :

設定しない

印刷データとプリンター設定を受け付ける

指定したサービスからの印刷データとプリンター設定の通信を受け付ける場合の例です。

【基本ポリシー】：

- [IPsec/IPフィルタリング]：[有効]
- [通信処理]：[通信を遮断]

【個別ポリシー】：

- [この個別ポリシーを有効にする]：チェックを入れる
- [通信処理]：[通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)]：印刷クライアントのIPアドレス
- [ポート指定方法]：[サービス名]
- [サービス名]：[ENPC]、[SNMP]、[HTTP (ローカル)]、[HTTPS (ローカル)]、[RAW (Port9100)]
にチェックを入れる

特定のIPアドレスからの通信のみ受け付ける

管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

【基本ポリシー】：

- [IPsec/IPフィルタリング]：[有効]
- [通信処理]：[通信を遮断]

【個別ポリシー】：

- [この個別ポリシーを有効にする]：チェックを入れる
- [通信処理]：[通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)]：管理者用クライアントのIPアドレス

参考 ポリシーの設定に関わらず、プリンターの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

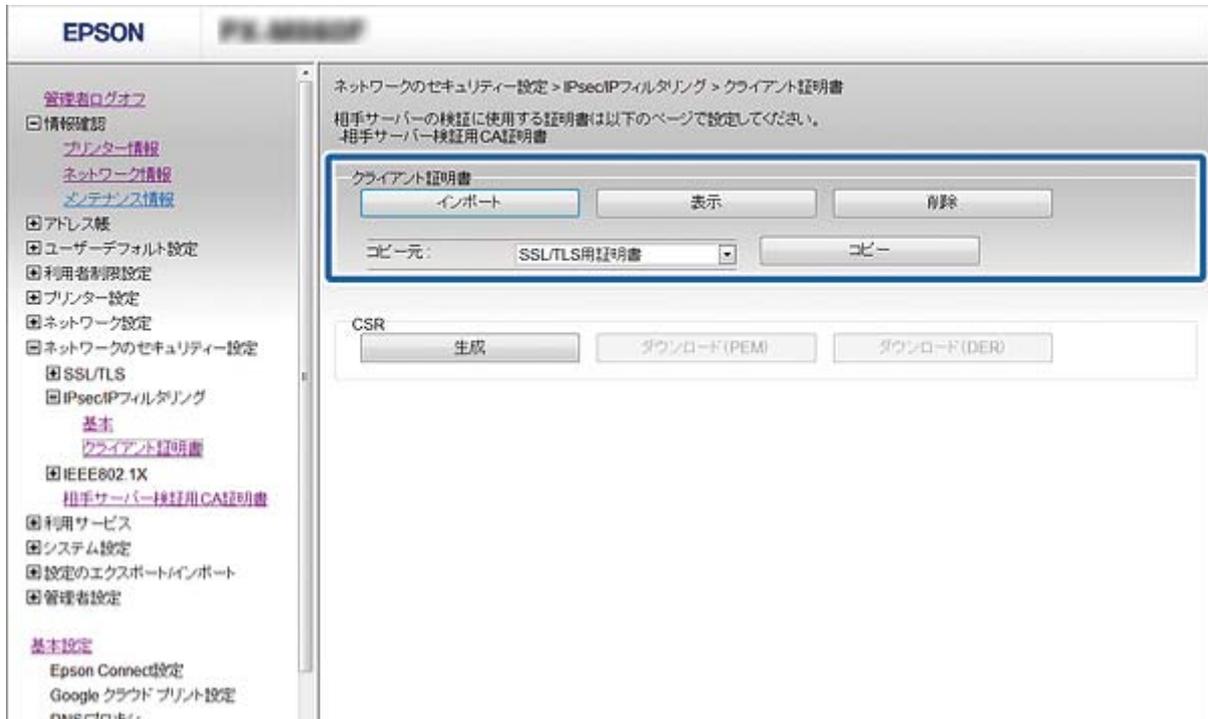
IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する

IPsec/IPフィルタリングで使用するクライアント証明書を設定します。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書]で行います。

1. Web Configで[ネットワークのセキュリティー設定] - [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書]を選択します。

2. 【クライアント証明書】画面で証明書をインポートしてください。

IEEE802.1XまたはSSL/TLSで、CA局が発行した証明書をインポートしている場合は証明書をコピーしてIPsec/IP Filteringで使用できます。コピーする場合は、【コピー元】からどの証明書を使うか選択して【コピー】をクリックしてください。



関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書の取得とインポート」 35ページ](#)

SNMPv3プロトコルを利用する

SNMPv3を設定する

プリンターがSNMPv3プロトコルに対応している場合、プリンターへのアクセスを監視・制御できます。

1. Web Configで【利用サービス】 - 【プロトコル】 を選択します。
2. 【SNMPv3設定】 の各項目を設定します。
3. 【次へ】 をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. 【設定】 をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「SNMPv3の設定項目」 30ページ](#)

SNMPv3の設定項目



| アイテム | 設定値と説明 |
|--------------|--------------------------------------|
| SNMPv3を有効にする | チェックを入れるとSNMPv3が有効になります。 |
| ユーザー名 | 1バイト文字を使って1～32字以内で入力します。 |
| 認証設定 | |
| アルゴリズム | 認証用のアルゴリズムを選択します。 |
| パスワード | ASCII (0x20-0x7E)で表せる8～32文字以内で入力します。 |
| パスワード確認入力 | 確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。 |
| 暗号化設定 | |
| アルゴリズム | 暗号化用のアルゴリズムを選択します。 |
| パスワード | ASCII (0x20-0x7E)で表せる8～32文字以内で入力します。 |
| パスワード確認入力 | 確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。 |
| コンテキスト名 | 1バイト文字を使って1～32字以内で入力します。 |

関連情報

- ➔ [「SNMPv3を設定する」 29ページ](#)

IEEE802.1X環境にプリンターを接続する

IEEE802.1Xを設定する

IEEE802.1Xに対応しているプリンターは、認証機能を持ったネットワーク（RADIUSサーバーと認証機能を持ったハブに接続されたネットワーク）環境に接続して使用できます。

1. Web Configで「ネットワークのセキュリティー設定」－「IEEE802.1X」－「基本」を選択します。

2. 各項目を設定します。

無線LANで使う場合は「無線LAN設定」をクリックしてSSIDを選択するか、入力してください。

 **参考** ここでの設定値は有線LANと無線LANで共通に使えます。

3. 「次へ」をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「設定」をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「IEEE802.1Xの設定項目」 32ページ](#)
- ➔ [「IEEE802.1Xを設定したのに繋がらない」 65ページ](#)

IEEE802.1Xの設定項目



| アイテム | 設定値と説明 | |
|--------------------|--|-----------------------------|
| IEEE802.1X (有線LAN) | [IEEE802.1X] - [基本] 画面で設定した値をIEEE802.1X (有線LAN) に対して有効または無効にするかを選択します。 | |
| IEEE802.1X (無線LAN) | IEEE802.1X (無線LAN) の接続状態が表示されます。 | |
| 接続方法 | 現在のネットワーク接続方法が表示されます。 | |
| 認証方式 | プリンターとRADIUSサーバーとの認証方式を設定します。 | |
| | EAP-TLS | CA署名証明書を取得してインポートする必要があります。 |
| | PEAP-TLS | |
| | PEAP/MSCHAPv2 | パスワードを設定する必要があります。 |
| ユーザーID | RADIUSサーバーの認証に使うIDを設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~128文字以内で入力します。 | |
| パスワード | プリンターを認証するためのパスワードを設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で1~128文字以内で入力します。WindowsサーバーをRADIUSサーバーとして使用する場合は、最大127文字になります。 | |
| パスワード確認入力 | 確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。 | |
| サーバーID | 特定のRADIUSサーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列が、RADIUSサーバーから送信されるサーバー証明書のsubjectフィールドまたはsubjectAltNameフィールドに含まれているかを検証します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。 | |

| アイテム | 設定値と説明 | |
|------------|--|------------------------|
| 証明書の検証 | 相手サーバー証明書の検証を設定します。認証方式に関わらず設定ができます。[相手サーバー検証用CA証明書] 画面で証明書をインポートしてください。 | |
| Anonymous名 | [認証方式] が [PEAP-TLS] または [PEAP/MSCHAPv2] の場合、PEAP認証のフェーズ1において、ユーザーIDの代わりに匿名を使用したいときに設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。 | |
| 暗号強度 | 以下のいずれかを選択します。 | |
| | 高い | AES256/3DES |
| | 標準 | AES256/3DES/AES128/RC4 |

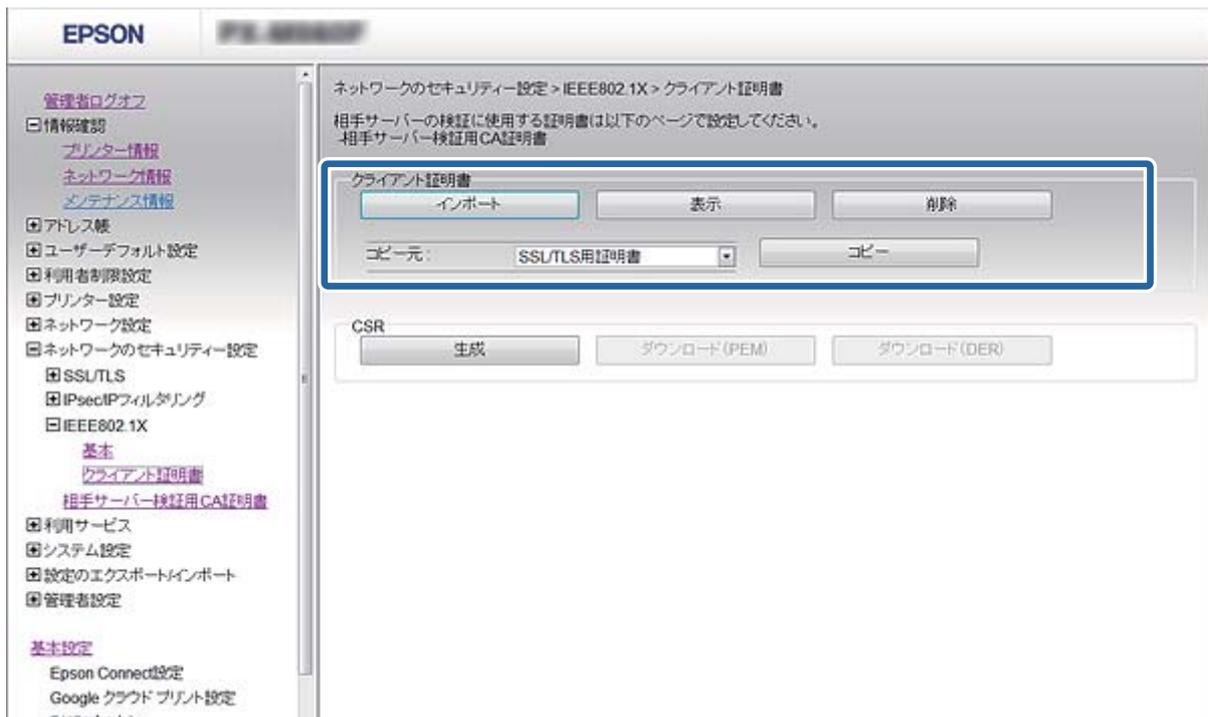
関連情報

➔ [「IEEE802.1Xを設定する」 31ページ](#)

IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する

IEEE802.1Xで使用するクライアント証明書を設定します。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書] で行います。

1. Web Configで [ネットワークのセキュリティー設定] - [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [クライアント証明書] に使用する電子証明書を設定します。
CA局が発行した証明書をインポートした場合はコピーできます。コピーする場合は、[コピー元] からどの証明書を使うか選択して [コピー] をクリックしてください。



関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書の取得とインポート」 35ページ](#)

プリンターのIEEE802.1X状態表示

IEEE802.1Xの動作状態はネットワークステータスシートを印刷し、「IEEE802.1X」の項目で確認できます。ネットワークステータスシートの印刷方法はプリンターのマニュアルをご覧ください。

| ステータス表示 | IEEE802.1Xの動作状態 |
|--------------------------|---|
| Disable | IEEE802.1X機能が無効になっています。 |
| EAP Success | IEEE802.1X認証が成功し、ネットワークに接続されています。 |
| Authenticating | IEEE802.1Xの認証中です。 |
| Config Error | ユーザーIDが設定されていないため、認証に失敗しました。 |
| Client Certificate Error | クライアント証明書の有効期限が切れているため、認証に失敗しました。 |
| Timeout Error | RADIUSサーバーや認証ハブからの応答がないため、認証に失敗しました。 |
| User ID Error | プリンターのユーザーIDまたは認証プロトコルに不備があるため、認証に失敗しました。 |
| Server ID Error | サーバーの証明書に記載されているサーバーIDと通信しているサーバーIDが一致しないため、認証に失敗しました。 |
| Server Certificate Error | サーバーの証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 証明書の有効期限切れ • 証明書のチェーンの異常 |
| CA Certificate Error | CA証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> • CA証明書の指定が間違っている • 正しいCA証明書がインポートされていない • CA証明書の有効期限切れ |
| EAP Failure | プリンターの設定に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> • クライアント証明書に何らかの不備がある（【認証方式】が【EAP-TLS】または【PEAP-TLS】の場合） • ユーザーIDまたはパスワードの間違い（【認証方式】が【PEAP/MSCHAPv2】の場合） |

電子証明書を使う

プリンターで使用できる電子証明書

- CA署名証明書
認証機関（CA局）によって署名された証明書は、CA局に申請して発行してもらいます。信頼性のあるCA局の証明書を使用すると、データ通信の安全が確保できます。CA署名証明書は、取得した各セキュリティー機能だけでなく、他の機能でも使用できます。
- CA証明書
CA署名証明書のチェーンやチェーン内の証明書です。接続相手サーバーの検証に使用できます。相手サーバーの証明書を発行したCA局から入手します。
- 自己署名証明書
プリンターが自ら発行し、署名した証明書です。証明書としては信頼性がなく、なりすましは防げません。またSSL通信をすると、ブラウザからセキュリティー警告が出ることがあります。自己署名証明書はSSL通信のみで使用できます。

関連情報

- ➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 15ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書の取得とインポート」 35ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書を削除する」 39ページ](#)
- ➔ [「自己署名証明書を更新する」 39ページ](#)

CA署名証明書の取得とインポート

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはプリンターのWeb Configかコンピューターで生成してください。

ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. Web Configで **「ネットワークのセキュリティー設定」** を選択します。次に **「SSL/TLS」** - **「証明書」**、**「IPsec/IPフィルタリング」** - **「クライアント証明書」**、**「IEEE802.1X」** - **「クライアント証明書」** のいずれかを選択します。
2. **「CSR」** の **「生成」** をクリックします。
CSR生成画面が開きます。
3. 各項目を設定します。
 **参考** 対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。
4. **「設定」** をクリックします。
設定完了のメッセージが表示されます。

5. [ネットワークのセキュリティー設定] を選択します。次に [SSL/TLS] - [証明書]、[IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書]、[IEEE802.1X] - [クライアント証明書] のいずれかを選択します。
6. CA局規定のファイル形式に従い [CSR] のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。

！重要 再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

7. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。
送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。
8. 入手したCA署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。
指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「CSRの設定項目」 36ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書をインポートする」 37ページ](#)

CSRの設定項目

| アイテム | 設定値と説明 |
|------|---------------------|
| 公開鍵長 | CSRに使用する公開鍵長を選択します。 |

| アイテム | 設定値と説明 |
|-----------------------|--|
| コモンネーム | 1～128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。 設定例： Web ConfigにアクセスするURL：https://10.152.12.225 コモンネーム：10.152.12.225 |
| 組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名 | ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～64文字以内で入力できます。ディスタングイッシュネーム (CN) はカンマで分割できます。 |
| 国コード | ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。 |

関連情報

➔ [「CA署名証明書を取得する」35ページ](#)

CA署名証明書をインポートする

- 重要**
- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。
 - Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。

1. Web Configで **【ネットワークのセキュリティー設定】** を選択します。次に **【SSL/TLS】** - **【証明書】**、**【IPsec/IPフィルタリング】** - **【クライアント証明書】**、**【IEEE802.1X】** - **【クライアント証明書】** のいずれかを選択します。
2. **【インポート】** をクリックします。
証明書インポート設定画面が開きます。
3. 各項目を設定します。
インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。
 - Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
 - **【秘密鍵】**：プリンターで保持しているため設定しない
 - **【パスワード】**：設定しない
 - **【CA証明書1】**、**【CA証明書2】**：任意
 - コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
 - **【秘密鍵】**：設定する
 - **【パスワード】**：設定しない
 - **【CA証明書1】**、**【CA証明書2】**：任意
 - コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
 - **【秘密鍵】**：設定しない
 - **【パスワード】**：任意
 - **【CA証明書1】**、**【CA証明書2】**：設定しない

4. [設定] をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

参考 [表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書のインポート設定項目」 38ページ](#)

CA署名証明書のインポート設定項目



| アイテム | 設定値と説明 |
|---------------------|--|
| サーバー証明書またはクライアント証明書 | 取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。 |
| 秘密鍵 | コンピューターで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。 |
| パスワード | 秘密鍵暗号化のためのパスワードを入力します。 |
| CA証明書1 | ファイル形式が【証明書 (PEM/DER)】の場合、サーバー証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。 |
| CA証明書2 | ファイル形式が【証明書 (PEM/DER)】の場合、【CA証明書1】を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。 |

関連情報

➔ [「CA署名証明書をインポートする」 37ページ](#)

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

！重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。

1. Web Configで **「ネットワークのセキュリティー設定」** を選択します。次に **「SSL/TLS」** - **「証明書」**、**「IPsec/IPフィルタリング」** - **「クライアント証明書」**、**「IEEE802.1X」** - **「クライアント証明書」** のいずれかを選択します。
2. **「削除」** をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
3. **「設定」** をクリックします。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

自己署名証明書を更新する

HTTPSサーバー機能を搭載しているプリンターは自己署名証明書の更新ができます。自己署名証明書を使用すると、Web Configの起動時に警告のメッセージが表示されます。

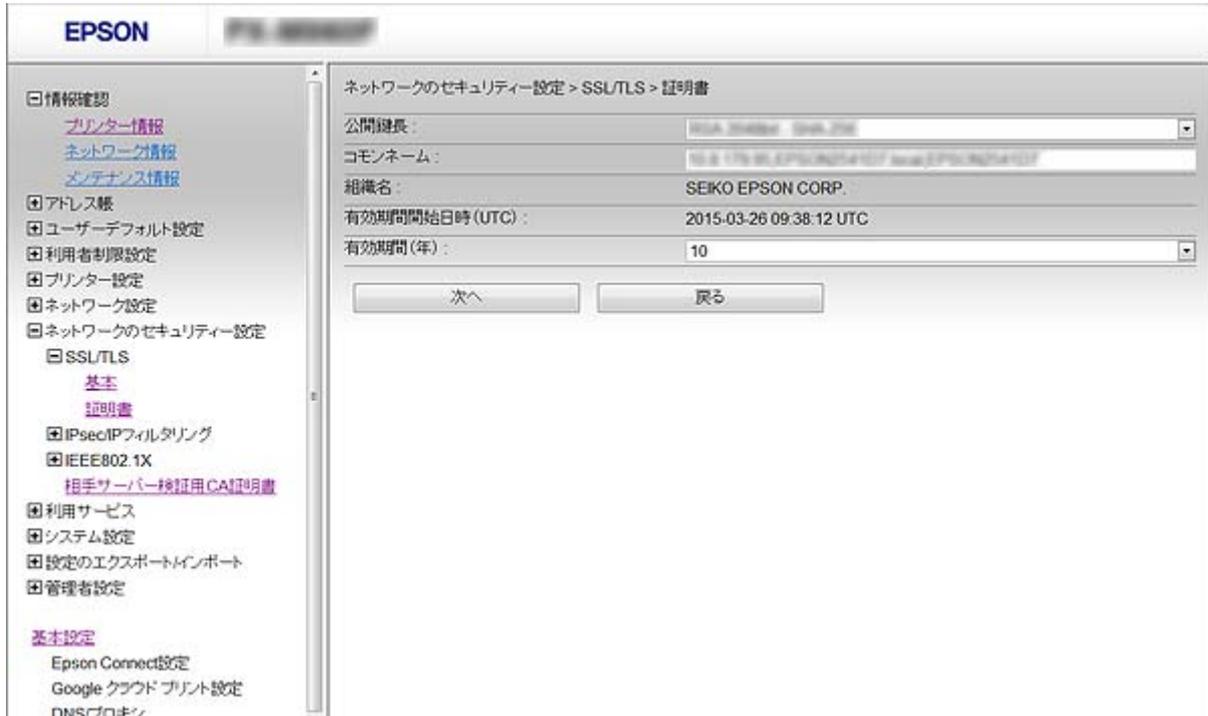
自己署名証明書は、CA署名証明書を取得しインポートするまでの期間中一時的に使用することをお勧めします。

1. Web Configで **「ネットワークのセキュリティー設定」** - **「SSL/TLS」** - **「証明書」** を選択します。
2. **「更新」** をクリックします。
3. **「コモンネーム」** を入力します。

プリンターにアクセスするIPアドレスやFQDN名などの識別子を入力します。1～128文字以内で入力できません。

参考 ディスティングイッシュネーム (CN) はカンマで分割できます。

4. 証明書の有効期間を選択します。



5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

参考 [表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

相手サーバー検証用CA証明書を設定する

相手サーバー検証用CA証明書のインポート、表示、削除ができます。

相手サーバー検証用CA証明書をインポートする

1. Web Configで [ネットワークのセキュリティー設定] - [相手サーバー検証用CA証明書] を選択します。
2. [インポート] をクリックします。

3. インポートする相手サーバー検証用CA証明書ファイルを指定します。



4. [設定] をクリックします。

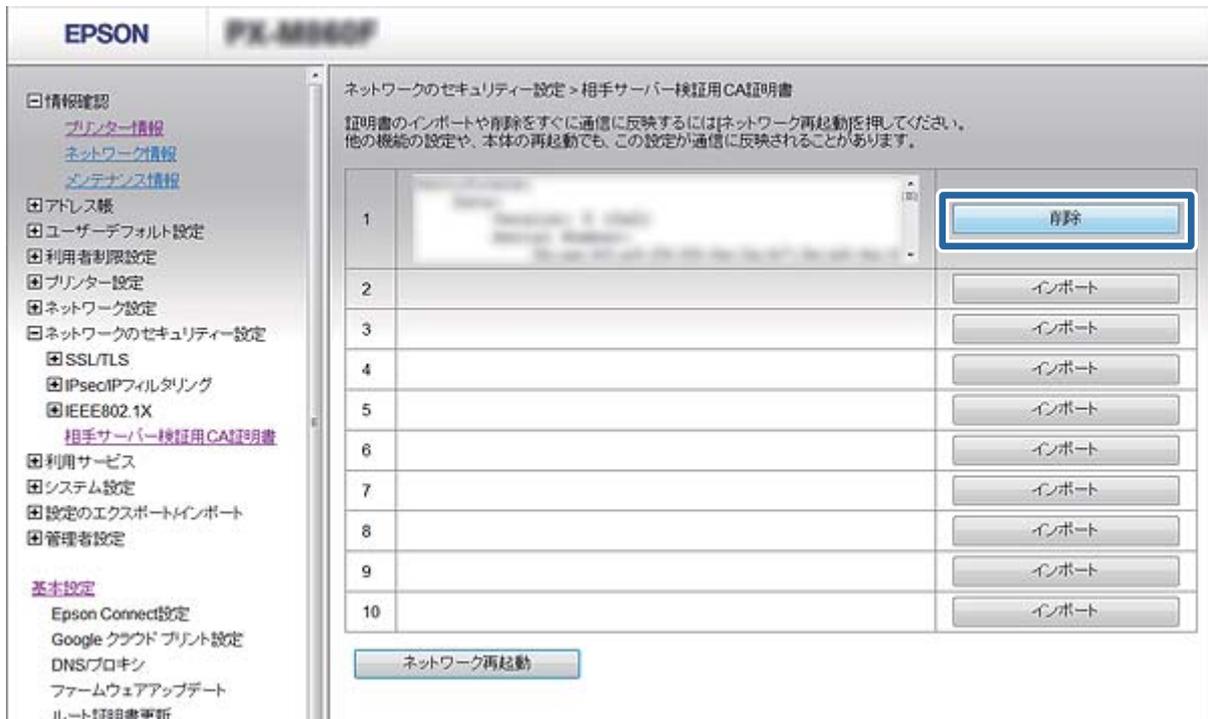
インポートされると [相手サーバー検証用CA証明書] に戻り、インポートされた相手サーバー検証用CA証明書の情報が表示されます。

相手サーバー検証用CA証明書を削除する

インポート済みの相手サーバー検証用CA証明書を削除します。

1. Web Configで [ネットワークのセキュリティー設定] - [相手サーバー検証用CA証明書] を選択します。

- 削除したい相手サーバー検証用CA証明書の「削除」をクリックします。



- 確認のメッセージを確認して、削除します。

ネットワークを再起動する

相手サーバー検証用CA証明書のインポートや削除をした後、すぐに通信を反映させて表示を最新の状態にします。

- Web Configで「ネットワークのセキュリティー設定」 - 「相手サーバー検証用CA証明書」を選択します。
- 「ネットワーク再起動」をクリックします。
- メッセージを確認して処理を続けます。

スキャンやファクスの宛先を設定する

宛先設定の概要

スキャンやファクスの宛先にプリンターのアドレス帳やLDAPサーバーの情報が利用できます。

- 参考**
- お使いのプリンターが対応しているかどうかは、プリンターのマニュアルをご覧ください。
 - プリンターのアドレス帳とLDAP検索は、プリンターの操作パネルで切り替えます。
 - メール送信機能を使うには、メールサーバーの設定が必要です。

関連情報

- ➔ [「アドレス帳の設定」 43ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバーの設定」 47ページ](#)
- ➔ [「メールサーバーの設定」 51ページ](#)

アドレス帳の設定

アドレス帳に登録できる宛先の種類は以下です。

- ・ [ファクス] : ファクスの宛先です。
- ・ [メール] : メールの宛先です。
- ・ [ネットワークフォルダー (SMB)]、[FTP] : スキャンデータやファクス転送ファイルの保存先です。

設定ツールによる宛先設定機能差

アドレス帳の宛先は、Web ConfigやEpsonNet Config、プリンターの操作パネルから設定できます。ただし、設定できる項目が異なります。

| 機能 | Web Config | EpsonNet Config | 操作パネル |
|-------------|------------|-----------------|-------|
| 宛先登録 | ○ | ○ | ○ |
| 宛先編集 | ○ | ○ | ○ |
| グループ登録 | ○ | ○ | ○ |
| グループ編集 | ○ | ○ | ○ |
| 宛先削除 | ○ | ○ | ○ |
| 宛先の一括削除 | ○ | × | × |
| 宛先やグループのコピー | × | ○ | × |
| ファイルのインポート | ○ | ○ | × |
| ファイルへエクスポート | ○ | ○ | × |

- 参考**
- EpsonNet Configではアドレス帳をインポートまたはエクスポートできます。詳細はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。
 - ファクスの宛先はFAX Utilityからも設定できます。

宛先を登録する

1. Web Configで [アドレス帳] を選択します。
2. 登録したい番号の [登録] をクリックします。
3. 設定したい宛先の [種別] を選択します。

参考 登録後は [種別] を変更できません。登録後に種別の変更をしたい場合は、宛先を削除して再登録してください。

4. [次へ] をクリックします。
5. 各項目を設定して、[適用] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「宛先の設定項目」 44ページ](#)

宛先の設定項目

The screenshot displays the Epson Web Config interface for setting a destination. The left sidebar shows a navigation menu with categories like 'Information Confirmation', 'Address Book', and 'Basic Settings'. The main content area is titled 'アドレス帳' (Address Book) and contains the following fields:

- 番号 (Number): 1
- 種別 (Type): ファクス (Fax)
- 登録名 (Registered Name): Epson FAX
- 検索名 (Search Name): FAX
- ファクス番号 (Fax Number): 000-0000-1111
- ファクス通信モード (Fax Communication Mode): ファクス通信設定に従う (Follow Fax Communication Settings)

At the bottom of the form, there are two buttons: '適用' (Apply) and '戻る' (Back).

スキャンやファクスの宛先を設定する

| アイテム | 設定値と説明 |
|-------------------|--|
| 共通 | |
| 登録名 | アドレス帳に表示する名称をUnicode (UTF-8) で表せる0~30文字以内で入力します。 |
| 検索名 | 検索に使われる名称をUnicode (UTF-8) で表せる0~30文字以内で入力します。 |
| ファクス | |
| ファクス番号 | 0~9 - * # または半角スペースを使用し、1~64文字以内で入力します。 |
| ファクス通信モード | 宛先に応じたファクス通信速度を選択します。 |
| メール | |
| メールアドレス | A~Z a~z 0~9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { } ~ @を使用し、1~255文字以内で入力します。 |
| ネットワークフォルダー (SMB) | |
| 保存先 | ¥¥ “フォルダーパス” 保存先フォルダーにする位置を” ¥¥ ” を除いて、Unicode (UTF-8) で表せる1~253文字以内で入力します。 ブラウザによっては、円マークがバックスラッシュで表示されることがあります。 |
| ユーザー名 | ネットワークフォルダーにアクセスするためのユーザー名をUnicode (UTF-8) で表せる0~30文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00~0x1f, 0x7f) を除きます。 |
| パスワード | ネットワークフォルダーにアクセスするためのパスワードをUnicode (UTF-8) で表せる0~20文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00~0x1f, 0x7f) を除きます。 |
| FTP | |
| 保存先 | ftp://”ホスト名”/”フォルダーパス” (ASCII (0x20-0x7E) で表せる1~253文字以内で入力します。ftp://は入力不要です。) |
| ユーザー名 | FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名をUnicode (UTF-8) で表せる0~30文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00~0x1f, 0x7f) を除きます。匿名による接続を認めているサーバーではFTPやAnonymousなどを入力します。 |
| パスワード | FTPサーバーにアクセスするためのパスワードをUnicode (UTF-8) で表せる0~20文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00~0x1f, 0x7f) を除きます。 |
| 接続モード | メニューから接続モードを選択します。プリンターとFTPの間にファイアウォールがある場合は、 [パッシブモード] を選択します。 |
| ポート番号 | FTPサーバーのポート番号を1~65535以内の数字で入力します。 |

関連情報

➡ [「宛先を登録する」 44ページ](#)

宛先をグループに登録する

種別が [ファクス] や [メール] の場合、複数の宛先をまとめてグループとして登録できます。

1. Web Configで [アドレス帳] を選択します。
2. 登録したい番号の [登録] をクリックします。
3. [種別] から登録したいグループを選択します。
4. [次へ] をクリックします。

登録できる宛先が一覧表示されます。

5. [登録名] と [検索名] を入力します。
6. 一覧から登録したい宛先を選択します。

EPSON Web Config

アドレス帳

番号: 6

種別: ファクス(グループ)

登録名: [入力欄]

検索名: [入力欄]

| | 登録名 | 検索名 | ファクス番号 |
|-------------------------------------|-----------|------|---------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | Epson Fax | 1111 | 000-0000-1111 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | Epson Fax | 1111 | 000-0000-2222 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | Epson Fax | 1111 | 000-0000-3333 |

適用 戻る

参考 宛先は、複数のグループに登録できます。

7. [適用] をクリックします。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

LDAPサーバーの設定

ファクスやメールの送信時に、LDAPサーバーにあるファクス番号やメールアドレスの情報が利用できます。予めLDAPサーバー情報への検索設定が必要です。

LDAPサーバーを設定する

1. Web Configで [ネットワーク設定] - [LDAPサーバー] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [設定] をクリックします。
設定結果が表示されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバー設定項目」 47ページ](#)

LDAPサーバー設定項目

The screenshot shows the 'Network Settings > LDAP Server > Basic' configuration page. The left sidebar includes categories like 'Printer Information', 'Network Information', 'Maintenance Information', 'Address Book', 'User Default Settings', 'User Restrictions', 'Printer Settings', 'Fax Settings', 'Network Settings', 'Wireless LAN', 'Ethernet LAN', 'Network Basics', 'Mail Server', 'LDAP Server', 'Basic', 'Search Settings', 'Connect Confirmation', 'Kerberos Settings', 'Network Security Settings', 'Utilization Services', 'System Settings', 'Export/Import Settings', 'Administrator Settings', and 'Epson Open Platform Settings'. The main configuration area includes the following fields:

- LDAPサーバーを使用する: 使用する 使用しない
- LDAPサーバーアドレス: [Text Input Field]
- LDAPサーバーポート番号: [Text Input Field, value: 81]
- 検索タイムアウト(秒): [Text Input Field, value: 51]
- 認証方式: [Dropdown Menu, value: Kerberos認証]
- 使用するKerberosレルム: [Dropdown Menu, value: Kerberos Realm 01]
- ユーザー名: [Text Input Field, value: user]
- パスワード: [Text Input Field, value: *****]

A note at the bottom states: 'Kerberos認証を利用するには、『Kerberos設定』を設定してください。' (To use Kerberos authentication, please set 'Kerberos Settings'). A '設定' (Set) button is located at the bottom of the configuration area.

| アイテム | 設定値と説明 |
|---------------|----------------------------|
| 接続設定 | |
| LDAPサーバーを使用する | [使用する] または [使用しない] を選択します。 |

| アイテム | 設定値と説明 |
|-----------------|---|
| LDAPサーバーアドレス | LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～255文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。 |
| LDAPサーバーポート番号 | LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。 |
| 検索タイムアウト（秒） | 検索を開始してからタイムアウトするまでの時間（秒）を5～300までの半角数字で入力します。 |
| 認証方式 | 認証方式を選択します。 |
| 使用するKerberosレルム | この項目は【認証方式】を【Kerberos認証】にすると設定できます。事前に【Kerberos設定】をする必要があります。 |
| ユーザー名 | Unicode (UTF-8)で表せる0～128文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字 (0x00～0x1F、0x7F) は使用できません。この項目は【認証方式】に【Simple認証】または【Kerberos認証】を選択した場合に設定してください。 |
| パスワード | Unicode (UTF-8)で表せる0～128文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字 (0x00～0x1F、0x7F) は使用できません。この項目は【Simple認証】に【Kerberos認証】または【認証方式】を選択した場合に設定してください。 |

関連情報

➔ [「LDAPサーバーを設定する」 47ページ](#)

LDAPサーバーの検索属性を設定する

1. Web Configで【ネットワーク設定】 - 【LDAPサーバー】 - 【検索設定】を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 【設定】をクリックします。
設定結果が表示されます。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

➔ [「LDAPサーバー検索設定項目」 49ページ](#)

LDAPサーバー検索設定項目

| アイテム | 設定値と説明 |
|-----------------|--|
| 検索開始位置(DN) | データベースの任意の領域など、特定の場所から検索するときに指定します。 Unicode (UTF-8) で表せる0~128文字以内で入力します。任意の属性で検索しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local |
| 検索件数上限数 (5-500) | 検索される数の上限を5~500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。 |
| ユーザー名属性 | 登録名として検索するLDAPサーバーの属性名を指定します。Unicode (UTF-8) で表せる1~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：cn、uid |
| ユーザー表示名属性 | 表示名として表示する属性名を指定します。Unicode (UTF-8) で表せる0~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：cn、sn |
| ファクス番号属性 | ファクス番号の検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：facsimileTelephoneNumber |
| メールアドレス属性 | メールアドレスを検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：mail |

| アイテム | 設定値と説明 |
|-----------------|---|
| 任意情報属性1～任意情報属性4 | LDAPサーバーにエンタリーしている他の任意属性を指定します。0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。任意属性でのデータ取得を行わない場合は空白にします。 設定例：o、ou |

関連情報

➔ [「LDAPサーバーの検索属性を設定する」 48ページ](#)

LDAPサーバーとの接続を確認する

1. Web Configで [ネットワーク設定] - [LDAPサーバー] - [接続確認] を選択します。

2. [確認開始] をクリックします。

LDAPサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

➔ [「LDAPサーバー接続確認結果」 50ページ](#)

LDAPサーバー接続確認結果

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| 接続に成功しました。 | サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。 |
| 接続に失敗しました。 設定を確認してください。 | 以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> LDAPサーバーアドレス、ポート番号などが間違っている 通信タイムアウトが発生した [LDAPサーバーを使用する] が [使用しない] 設定になっている [認証方式] に [Kerberos認証] を選択した場合に、Kerberos設定の [Kerberosサーバーアドレス]、[Kerberosサーバーポート番号]、[Kerberosサーバーレルム(ドメイン)] の設定が間違っている |
| 接続に失敗しました。 プリンター、またはサーバーの日付/時刻設定を確認してください。 | プリンターとLDAPサーバーの時刻設定の不一致によって接続に失敗した場合に表示されます。 |
| サーバーの認証に失敗しました。 設定を確認してください。 | 以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> [ユーザー名] または [パスワード] が間違っている [認証方式] に [Kerberos認証] が選択されているとき、時刻設定されていない |
| プリンターが処理動作中のためアクセスできません。 | プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。 |

関連情報

➔ [「LDAPサーバーとの接続を確認する」 50ページ](#)

メールサーバーの設定

スキャンしたデータや受信ファックスを転送するなどメール送信機能を使うには、メールサーバーの設定が必要です。

メールサーバーを設定する

設定の前に以下を確認してください。

- プリンターがネットワークに接続されていること
- コンピューターのメール設定時に使ったサーバー情報

1. Web Configで [ネットワーク設定] - [メールサーバー] - [基本] を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. [設定] をクリックします。

設定結果が表示されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「メールサーバー設定項目」 51ページ](#)

メールサーバー設定項目

EPSON P7770000

ネットワーク設定 > メールサーバー > 基本

メールサーバーのセキュア機能を使用するには証明書が必要です。
以下のページで設定してください。
- 相手サーバー検証用 CA証明書
- ルート証明書更新

認証方式: SMTP認証

認証用アカウント: [入力欄]

認証用パスワード: [入力欄]

送信元アドレス: [入力欄]

SMTPサーバーアドレス: [入力欄]

SMTPサーバーポート番号: 25

セキュア接続: SSL/TLS

証明書の検証: 有効 無効

証明書の検証を有効にすることをお勧めします。
無効にするとメールサーバーの安全性を確認せずに接続します。

POP3サーバーアドレス: [入力欄]

POP3サーバーポート番号: [入力欄]

設定

スキャンやファクスの宛先を設定する

| アイテム | 設定値と説明 | |
|----------------|--|--|
| 認証方式 | プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。 | |
| | 認証しない | メールサーバーとの通信時に認証を行いません。 |
| | SMTP認証 | メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。 |
| | POP before SMTP | 選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。 |
| 認証用アカウント | 【認証方式】で【SMTP認証】または【POP before SMTP】を選択した場合、認証用のアカウント名をASCII (0x20-0x7E) で表せる0~255文字以内で入力します。 | |
| 認証用パスワード | 【認証方式】に【SMTP認証】または【POP before SMTP】を選択した場合、認証用のパスワードをA-Z a-z 0-9 ! # \$ % & ' * + . - / = ? ^ _ { } ~ @ を使用し、0~20文字以内で入力します。 | |
| 送信元アドレス | 送信元を示すメールアドレスを入力します。: () < > [] ; ¥ を除くASCII (0x20-0x7E) で表せる0~255文字以内で入力します。ただし、ピリオド (.) は先頭文字にできません。 | |
| SMTPサーバーアドレス | A~Z a~z 0~9 . - を使用し、0~255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。 | |
| SMTPサーバー ポート番号 | 1~65535までの数字を入力します。 | |
| セキュア接続 | メールサーバーのセキュア接続方式を指定します。 | |
| | なし | 【認証方式】で【POP before SMTP】を選択した場合は【なし】になります。 |
| | SSL/TLS | 【認証方式】で【認証しない】または【SMTP認証】を選択したときに選択できます。 |
| | STARTTLS | 【認証方式】で【認証しない】または【SMTP認証】を選択したときに選択できます。 |
| 証明書の検証 | 有効にするとメールサーバーの証明書の正当性をチェックします。【有効】にすることをお勧めします。 | |
| POP3サーバーアドレス | 【認証方式】に【POP before SMTP】を選択した場合、POP3サーバーアドレスをA~Z a~z 0~9 . - を使用して0~255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。 | |
| POP3サーバー ポート番号 | 【認証方式】に【POP before SMTP】を選択した場合、1~65535までの数字入力を行います。 | |

関連情報

➔ [「メールサーバーを設定する」51ページ](#)

メールサーバーとの接続を確認する

1. Web Configで **【ネットワーク設定】 > 【メールサーバー】 > 【接続確認】** を選択します。
2. **【確認開始】** をクリックします。

メールサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「メールサーバー接続確認結果」 53ページ](#)

メールサーバー接続確認結果

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| 接続に成功しました。 | サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。 |
| SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。・ネットワーク設定 | 以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンターがネットワークに接続されていない • SMTPサーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した |
| POP3サーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。・ネットワーク設定 | 以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンターがネットワークに接続されていない • POP3サーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した |
| SMTPサーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・DNSサーバー | 以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • DNSサーバーとの接続に失敗した • SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した |
| POP3サーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・POP3サーバーアドレス・DNSサーバー | 以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • DNSサーバーとの接続に失敗した • SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した |
| SMTPサーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード | SMTPサーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。 |
| POP3サーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード | POP3サーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。 |
| サポートしていない通信方式です。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・SMTPサーバーポート番号 | プリンターがサポートしていないプロトコルで通信しようとした場合に表示されません。 |
| SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をなしに変更してください。 | サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続（SSL接続）をサポートしていない場合に表示されます。 |
| SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSSL/TLSに変更してください。 | サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSSL/TLS接続することを要求してきている場合に表示されます。 |

| メッセージ | 説明 |
|---|---|
| SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSTARTTLSに変更してください。 | サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSTARTTLS接続することを要求している場合に表示されます。 |
| サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・日付/時刻 | プリンターの日時設定が正しくない、またはサーバーに対応するルート証明書は保有しているが、期限切れの場合に表示されます。 |
| サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・相手サーバー検証用CA証明書 | サーバーに対応するルート証明書をプリンターが保有していない、または相手サーバー検証用CA証明書がインポートされていない場合に表示されます。 |
| サーバーの安全性が確認できませんでした。 | サーバーから取得した証明書が壊れている場合などに表示されます。 |
| SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をSMTP認証に変更してください。 | サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をサポートしているのに、プリンターはSMTP認証を実行していません。 |
| SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をPOP before SMTPに変更してください。 | サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をしていないのに、プリンターはSMTP認証を実行しようとしています。 |
| 送信元アドレスが正しくありません。お使いのメールサービスで取得したアドレスに変更してください。 | 送信元アドレスの指定が間違っていた場合に表示されます。 |
| プリンターが処理動作中のためアクセスできません。 | プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。 |

関連情報

➔ [「メールサーバーとの接続を確認する」52ページ](#)

Kerberos認証の設定

複数のサーバーと複数のユーザー認証情報を一元管理するには、[Kerberos設定] をします。最大で10件の設定を登録できます。

Kerberos認証設定をする

1. Web Configで [ネットワーク設定] - [Kerberos設定] を選択します。
2. 登録する項目にKerberos設定の情報を入力します。
3. [設定] をクリックします。

設定の結果がメッセージ表示されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「Kerberos設定項目」 55ページ](#)

Kerberos設定項目



| アイテム | 設定値と説明 |
|-----------|--|
| レルム(ドメイン) | Kerberos認証のレルムをASCII (0x20~0x7E) で表せる0~255文字以内で指定します。 |
| KDCアドレス | KDC (Key Distribution Center) のアドレスを、英数、ピリオド、ハイフン、コロンで入力します。ただし、FQDN形式で入力する場合はハイフンは先頭と末尾には使えません。また、コロンはIPv6形式の入力でのみ使えます。レルム (ドメイン) を指定しなかった場合は、この項目も空白にできます。 |
| ポート番号 | Kerberosサーバーのポート番号を1~65535以内の数字で入力します。 |

関連情報

- ➔ [「Kerberos認証設定をする」 54ページ](#)

利用者制限と管理者パスワードを設定する

利用者制限の概要

プリンターに最大で9人のユーザーが登録でき、それぞれのユーザーの利用できる機能が設定できます。ユーザーは操作パネル上でユーザーIDとパスワードを入力してログオンし、プリンターを使用します。作業が終了したらログオフします。また、一定時間パネル操作がないと自動でログオフされます。

プリンタードライバーやスキャナードライバーからの使用を制限したい場合は、その機種専用のドライバーを使ってください。

Windowsからプリンターを使用する場合、設定したユーザー名とパスワードをプリンタードライバーやスキャナードライバーに登録できます。登録すると、コンピューターからの利用時に自動でユーザー認証されるため、都度パスワードを入力する必要がありません。設定方法はドライバーのヘルプをご覧ください。

Mac OS Xではこの機能は使えません。

利用制限を設定する

1. Web Configで [利用者制限設定] - [基本] を選択します。
2. [利用者制限を有効にする] にチェックを入れて [設定] をクリックします。

！重要 [認証情報の無い印刷/スキャンを許可する] のチェックを外すと、以下から送られる認証情報のないジョブは受け付けられません。

- OS標準搭載のドライバー
- PostScript プリンタードライバー
- スマートデバイス



3. [利用者制限設定] - [ユーザー設定] を選択します。
4. [登録] をクリックし、各項目を設定します。
5. [適用] をクリックします。

参考 既に登録されているユーザーを編集する場合は、[削除] が表示されます。クリックすると登録ユーザーを削除できます。

EpsonNet Configは利用者制限のリストをインポートしたりエクスポートしたりできます。詳細はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「利用制限設定項目」 57ページ](#)

利用制限設定項目

| アイテム | 設定値と説明 |
|----------------|--|
| ユーザー名 | ユーザー一覧への表示名をASCII (0x20-0x7E) で表せる1～14文字以内で入力します。 |
| パスワード | ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～20文字以内で入力します。パスワードを初期化する場合、空白のままにします。 |
| 以下の機能の使用を許可する。 | チェックされた機能の利用が許可されます。 |

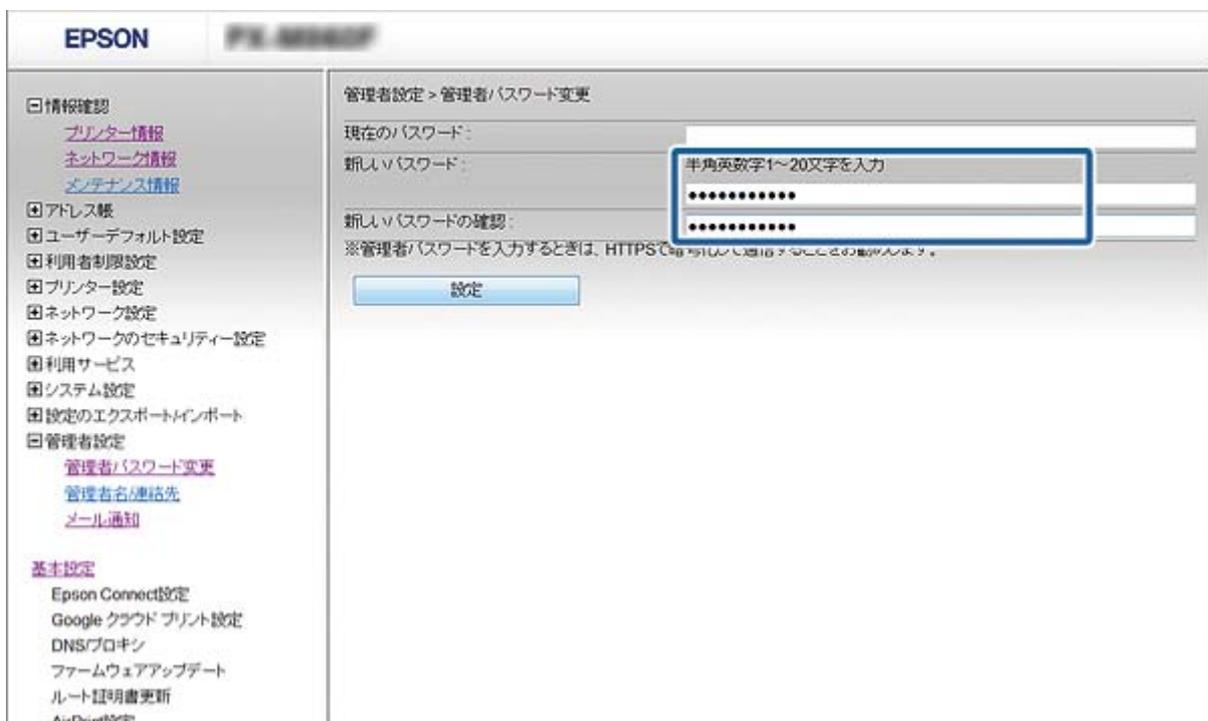
関連情報

➔ [「利用制限を設定する」 56ページ](#)

管理者パスワードを設定する

管理者パスワードを設定すると、利用者がプリンターの設定を変更できなくなります。

1. Web Configで **「管理者設定」** – **「管理者パスワード変更」** を選択します。
2. **「新しいパスワード」** と **「新しいパスワードの確認」** にパスワードを入力します。
パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。



3. **「設定」** をクリックします。

参考 設定したパスワードはWeb ConfigやEpsonNet Config、プリンターの操作パネルで共有されます。
管理者のパスワードを忘れてしまったときは、弊社お問い合わせ先にご連絡ください。詳しくは、プリンターのマニュアルをご覧ください。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

プロトコルを設定する

プリンターが対応している制御可能なプロトコルの有効・無効を設定できます。

参考 SNMPv3プロトコルを利用したい場合は、「SNMPv3プロトコルを利用する」をご覧ください。

1. Web Configで「利用サービス」 - 「プロトコル」を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 「次へ」をクリックします。
4. 「設定」をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➔ 「SNMPv3プロトコルを利用する」29ページ

プロトコルの設定項目



| アイテム | 設定値と説明 |
|--------------|---|
| Bonjour設定 | |
| Bonjourを使用する | チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。この項目を無効にするとAirPrintが使用できなくなります。 |
| Bonjour名 | Bonjour名が表示されます。 |
| Bonjourサービス名 | Bonjourサービス名が表示されます。 |
| ロケーション | Bonjourのロケーションが表示されます。 |
| UPnP設定 | |

利用者制限と管理者パスワードを設定する

| アイテム | 設定値と説明 |
|----------------------------|---|
| UPnPを有効にする | チェックを入れると有効になり、UPnP(Universal Plug and Play) で検索されるようになります。この項目はUPnPをサポートしているプリンターのみ表示されます。 |
| デバイス名 | UPnPのデバイス名が表示されます。 |
| ロケーション | UPnPのロケーションが表示されます。 |
| SLP設定 | |
| SLP機能を有効にする | チェックを入れるとSLP機能が有効になります。エプソンプリンターではブッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。 |
| WSD設定 | |
| WSDを有効にする | チェックを入れるとWSDによるデバイス追加が有効になります。 |
| 印刷タイムアウト (秒) | WSD印刷の通信タイムアウト時間を3~3600秒の範囲で入力します。 |
| スキャンタイムアウト (秒) | WSDスキャンの通信タイムアウト時間を3~3600秒の範囲で入力します。 |
| デバイス名 | WSDのデバイス名が表示されます。 |
| ロケーション | WSDのロケーションが表示されます。 |
| LLTD設定 | |
| LLTDを有効にする | チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。 |
| デバイス名 | LLTDのデバイス名が表示されます。 |
| LLMNR設定 | |
| LLMNRを有効にする | チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。 |
| LPR設定 | |
| LPRポートからの印刷を許可する | チェックを入れるとLPRポートからの印刷を許可します。 |
| 印刷タイムアウト (秒) | LPR印刷の通信のタイムアウト時間を0~3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。 |
| RAW (Port9100) 設定 | |
| RAWポート(Port9100)からの印刷を許可する | チェックを入れるとRAWポート (Port9100) からの印刷を許可します。 |
| 印刷タイムアウト (秒) | RAW (Port9100) 印刷の通信タイムアウト時間を0~3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。 |

利用者制限と管理者パスワードを設定する

| アイテム | 設定値と説明 |
|--------------------|---|
| IPP設定 | |
| IPPを有効にする | チェックを入れるとIPP通信が有効になります。IPPをサポートしているプリンターのみ表示されます。この項目を無効にするとAirPrintが使用できなくなります。 |
| 非セキュア通信を許可する | チェックを入れると非セキュア (IPP) で通信します。 |
| 通信タイムアウト (秒) | IPP印刷の通信のタイムアウト時間を0~3600秒の範囲で入力します。 |
| URL (ネットワーク) | 有線LAN、または無線LANで接続されている場合にIPPのURL (httpとhttps) が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。 |
| URL (Wi-Fi Direct) | Wi-Fi Directで接続されている場合にIPPのURL (httpとhttps) が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。 |
| プリンター名 | IPPのプリンター名が表示されます。 |
| ロケーション | IPPのロケーションが表示されます。 |
| FTP設定 | |
| FTPサーバーを有効にする | チェックを入れるとFTP通信が有効になります。FTP印刷をサポートしているプリンターのみ表示されます。 |
| 通信タイムアウト (秒) | FTP印刷の通信のタイムアウト時間を0~3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。 |
| SNMPv1/v2c設定 | |
| SNMPv1/v2cを有効にする | チェックを入れるとSNMPv1/v2cを有効にします。SNMPv3をサポートしているプリンターのみ表示されます。 |
| アクセス権限 | SNMPv1/v2cを有効にした場合にアクセス権限を設定します。[読み込み専用] または [読み書き可能] を選択します。 |
| コミュニティ名 (読み込み専用) | ASCII (0x20~0x7E) で表せる0~32文字以内で入力します。 |
| コミュニティ名 (読み書き可能) | ASCII (0x20~0x7E) で表せる0~32文字以内で入力します。 |

トラブルを解決する

トラブルを解決するための情報

本書に記載されていないプリンターに関する情報は以下のマニュアル類をご覧ください。

- ユーザーズガイド/操作ガイド
プリンターをコンピューターから使う方法やインクカートリッジの交換方法、トラブルの解決方法が記載されています。
- ネットワークガイド
プリンターのネットワーク接続設定やトラブルの解決方法が記載されています。
- Epson Connectページ
<https://www.epsonconnect.com/>
Epson Connectサービスの説明や設定方法、トラブルの解決方法などの情報があります。

ソフトウェア使用時のトラブル

Web Configにアクセスできない

プリンターにIPアドレスを設定していますか？

EpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルでIPアドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートやプリンターの操作パネルで確認できます。

SSL/TLSの暗号強度が【高い】になっていませんか？

【暗号強度】を【高い】に設定すると、AES（256ビット）または3DES（168ビット）をサポートしているブラウザでないとWeb Configを起動できません。ブラウザの暗号強度の対応ビットをご確認ください。

Web ConfigにSSL通信（https）で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されましたか？

証明書の有効期限が切れていたら証明書を取得し直してください。証明書の有効期限内に表示されるときは、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

Web ConfigにSSL通信（https）で接続したときに「セキュリティ証明書の名前が一致しません...」と表示されましたか？

自己署名証明書またはCSRの作成時に【コモンネーム】で記述したアドレスとブラウザに入力したアドレスが一致していません。証明書を取得し直すか、プリンター名を変更してください。

プリンターをプロキシサーバー経由で使用していますか？

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザのプロキシサーバーの設定が必要です。

- Windows：
【コントロールパネル】 - 【ネットワークとインターネット】 - 【インターネットオプション】 - 【接続】 - 【LANの設定】の【プロキシサーバー】で、ローカルアドレスにプロキシサーバーを使わない設定にします。

- Mac OS X :
[システム環境設定] - [ネットワーク] - [詳細] - [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。
設定例：
ローカルアドレス192.168.1.XXX、サブネットマスク255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
ローカルアドレス192.168.XXX.XXX、サブネットマスク255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)

EpsonNet Configで製品名やIPアドレスが表示されない

Windowsセキュリティの重要な警告画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択しましたか？

[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Config または EpsonNet Setupで製品名が表示されません。

通信を可能にするには、Windowsファイアウォールや市販のセキュリティソフトでEpsonNet Configを例外アプリケーションとして登録してください。それでも表示できないときは、市販のセキュリティソフトを終了してからEpsonNet Configを再度起動してください。

通信エラーのタイムアウトが短い設定になっていませんか？

EpsonNet Configの [ツール] - [オプション] - [タイムアウト] で、[通信エラー] とする時間を大きい値に変更してみてください。ただし、検索に時間がかかるためEpsonNet Configの動作は遅くなります。

関連情報

- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 14ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS X」 14ページ](#)

セキュア環境への接続時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

Web Configでキーを設定し直してください。

Web Configの [ネットワークのセキュリティー設定] - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本ポリシー] または [個別ポリシー] の画面でキーを変更します。

IPsec通信ができない

コンピューターの設定でプリンターがサポートしていないアルゴリズムを指定していませんか？

プリンターがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。

| セキュリティーメソッド | アルゴリズム |
|-------------|--|
| 暗号化アルゴリズム | AES-CBC 128 |
| | AES-CBC 192 |
| | AES-CBC 256 |
| | 3DES-CBC |
| | DES-CBC |
| ハッシュアルゴリズム | SHA-1 |
| | SHA2-256 |
| | SHA2-384 |
| | SHA2-512 |
| | MD5 |
| キー交換アルゴリズム | Diffie-Hellman Group2 |
| | Diffie-Hellman Group1*、Diffie-Hellman Group14*、Elliptic Curve Diffie-Hellman P-256*、Elliptic Curve Diffie-Hellman P-384* |

*：対応していないプリンターがあります。

関連情報

➔ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」21ページ](#)

突然通信ができなくなった

プリンターのIPアドレスが変更または使用不可になっていませんか？

プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの [ネットワークのセキュリティー設定] - [IPsec/IPフィルタリング] - [個別ポリシー] - [ローカルアドレス (プリンター)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

固定のIPアドレスを使用してください。

コンピューターのIP アドレスが変更または使用不可になっていませんか？

プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの [ネットワークのセキュリティー設定] - [IPsec/IPフィルタリング] - [個別ポリシー] - [リモートアドレス (ホスト)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

固定のIPアドレスを使用してください。

関連情報

➔ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」21ページ](#)

セキュアIPP印刷のポートが作成できない

正しい証明書をSSL/TLSのサーバー証明書に指定しましたか？

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗する場合があります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターにCA証明書がインポートされていますか？

コンピューターにCA証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗する場合があります。CA証明書がインポートされているか確認してください。

IPP印刷のポート番号を443と指定しましたか？

443ポートからのセキュア印刷には対応していません。ポート番号631を使用してください。

関連情報

➔ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」 21ページ](#)

IPsec/IPフィルタリング設定したのにつながらない

設定が間違っている可能性があります。

プリンターの操作パネルからIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IPsec/IPフィルタリングの設定をやり直してください。

関連情報

➔ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」 21ページ](#)

IEEE802.1Xを設定したのにつながらない

設定が間違っている可能性があります。

プリンターの操作パネルからIEEE802.1Xと無線LANを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IEEE802.1Xの設定をやり直してください。

関連情報

➔ [「IEEE802.1Xを設定する」 31ページ](#)

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA 署名証明書と作成したCSRの情報が一貫していますか？

CA署名証明書とCSRは、同一の情報を有していないとインポートできません。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしていませんか？
情報を確認して、一致する機器にインポートしてください

- CA局にCSRを送付した後、プリンターに保存されているCSRを再生成しましたか？再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えていませんか？

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードは正しいですか？

パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。

関連情報

- ➔ [「CA署名証明書をインポートする」37ページ](#)

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが未入力ではありませんか？

[コモンネーム] は必ず入力してください。

コモンネームに入力可能な文字以外（例：日本語）を入力していませんか？

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると [コモンネーム] はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

- ➔ [「自己署名証明書を更新する」39ページ](#)

CSRが作成できない

コモンネームが未入力ではありませんか？

[コモンネーム] は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に入力可能な文字以外を入力していませんか？例えば日本語は使えません。

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると [コモンネーム] はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

- ➔ [「CA署名証明書を取得する」35ページ](#)

証明書に関する警告が表示された

| メッセージ | 原因と対処 |
|---------------------------------|--|
| サーバー証明書を指定してください。 | <p>原因： インポートするファイルが指定されていません。</p> <p>対処： ファイルを選択してから【インポート】をクリックしてください。</p> |
| CA証明書1の参照先を入力してください。 | <p>原因： CA証明書1が未入力で、CA証明書2のみ入力されています。</p> <p>対処： 先にCA証明書1をインポートしてください。</p> |
| 以下の入力値が正しくありません。 | <p>原因： ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。</p> <p>対処： 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。</p> |
| 日付/時刻が設定されていません。 | <p>原因： プリンターに日付や時刻が設定されていません。</p> <p>対処： Web ConfigやEpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。</p> |
| パスワードが正しくありません。 | <p>原因： CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。</p> <p>対処： 正しいパスワードを入力してください。</p> |
| 不正なファイルです。 | <p>原因： インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。</p> <p>対処： 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。</p> |
| | <p>原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBまでです。</p> <p>対処： ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。</p> |
| | <p>原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。</p> <p>対処： 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。</p> |
| 3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。 | <p>原因： PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。</p> <p>対処： PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。</p> |

| メッセージ | 原因と対処 |
|---|--|
| 有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。 | <p>原因： 証明書の有効期限が切れています。</p> <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。 |
| 秘密鍵が必要な証明書ファイルです。 | <p>原因： 証明書と対になった秘密鍵がありません。</p> <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。 |
| | <p>原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとしてしました。</p> <p>対処： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。</p> |
| 設定に失敗しました。 | <p>原因： プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。</p> <p>対処： 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。</p> |

関連情報

➔ [「プリンターで使用できる電子証明書」 35ページ](#)

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがありますか？

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。

Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

関連情報

➔ [「CA署名証明書を削除する」 39ページ](#)

印刷時のトラブル

AirPrintで印刷できない

AirPrintが無効になっていませんか？

AirPrintを有効にするには、Web Configの [AirPrint設定] 画面で、 [AirPrintを有効にする] をクリックしてください。

意味不明の文字が大量に印刷された

印刷ポートの設定は適切ですか？

プリントサーバーにインストールされているドライバーの印刷ポートとプリンターが一致しているか確認してください。

関連情報

➔ [「プリンターの共有設定をする - Windows」 79ページ](#)

付録

イベント発生時にメール通知を受け取る

メール通知の概要

メール通知とは、用紙切れなどのイベントが発生したときにメールを受け取る機能です。メールアドレスは5つまで登録でき、それぞれに受け取りたいイベントを設定できます。

メール通知を設定する

この機能を利用するにはメールサーバーの設定が必要です。

1. Web Configで【管理者設定】 - 【メール通知】を選択します。
2. メールを受け取る送信先のメールアドレスを入力します。
3. メール通知の言語を選択します。
4. 通知を受け取りたいイベントをチェックします。

管理者設定 > メール通知

メール通知を使用するには事前にメールサーバー設定を行ってください。

宛先設定
設定された宛先に、選択した言語のメールを送信します。

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----|-------------------|---|-----|---|---|
| 1: | xxxxx@example.com | | 日本語 | | |
| 2: | xxxxx@example.com | | 日本語 | | |
| 3: | xxxxx@example.com | | 日本語 | | |
| 4: | | | 日本語 | | |
| 5: | | | 日本語 | | |

通知設定
チェックを付けた項目の状態のときにメールを送信します。

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| インク残量限界値以下 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| インク残量少 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| メンテナンスボックス空き容量満 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| メンテナンスボックス空き容量少 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 用紙切れ | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 印刷停止(※) | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| プリンターエラー | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| スキャナーエラー | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ファクスエラー | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 管理者パスワード変更 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

※ 紙詰まり、用紙カセットなし、用紙サイズ/種類不一致などが発生したときにメールを送信します。

5. 【設定】をクリックします。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 12ページ](#)
- ➔ [「メールサーバーの設定」 51ページ](#)

Web Config設定のエクスポートとインポート

Web Configの設定項目をファイルにエクスポートして別のプリンターにコピーできます。

設定をエクスポートする

プリンターに設定されている個々の設定値をエクスポートします。

1. Web Configで **「設定のエクスポート/インポート」** - **「エクスポート」** を選択します。

2. エクスポートしたい設定を選択します。

チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリを選択すると、子のカテゴリが同時に選択されます。ただし、プリンター名やIPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。

3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。

ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。

4. **「エクスポート」** をクリックします。

！重要 プリンターのIPアドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは **「本体ごとの個別設定を選択可能にする」** にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

！重要 プリンター名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。IPアドレスが重複する場合は、インポートしても内容は反映されません。

1. Web Configで **「設定のエクスポート/インポート」** - **「インポート」** を選択します。

2. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。

3. **「次へ」** をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

個別にプリンターのネットワーク設定をする

プリンターのネットワーク設定を個別に行いたい場合は、プリンターに付属のソフトウェアディスクのインストーラーやWeb上のSetup Naviを使ってください。詳細はプリンターのマニュアルをご覧ください。

ネットワークインターフェイスを設定する - 有線LAN

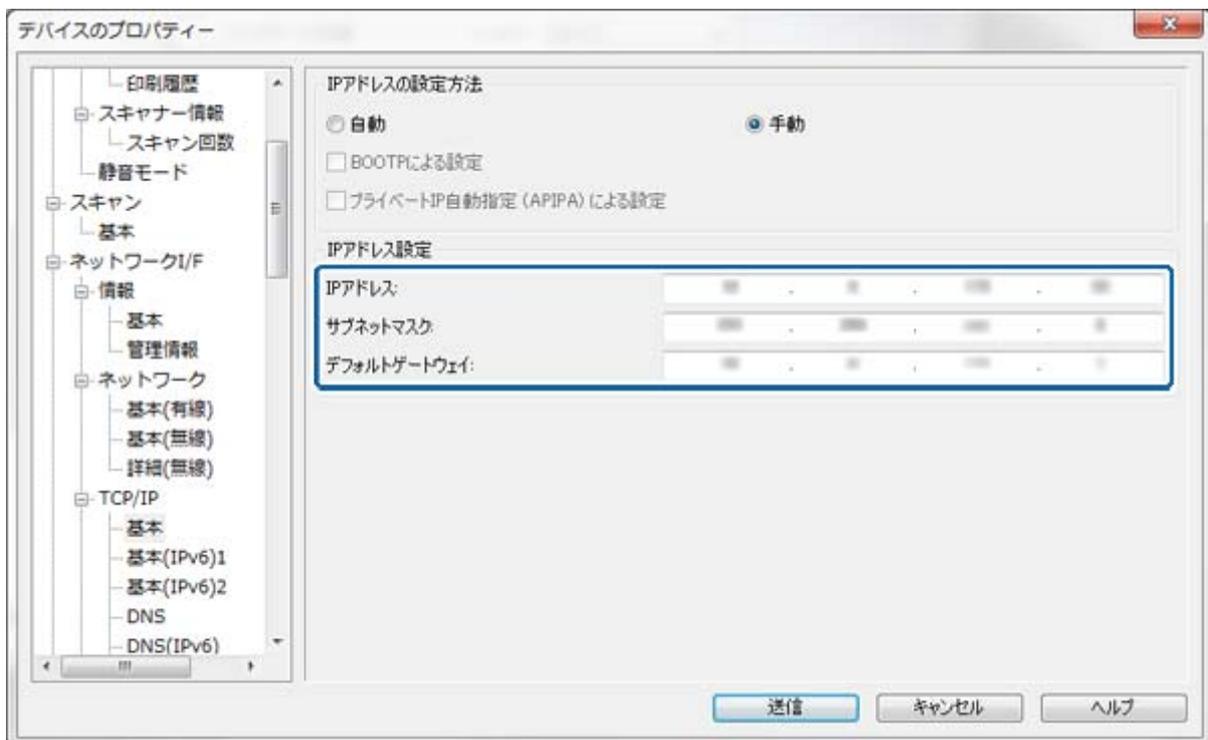
EpsonNet ConfigでネットワークインターフェイスのIP アドレスを設定します。

1. プリンターの電源を入れます。
2. LANケーブルでプリンターをネットワークに接続します。
3. EpsonNet Configを起動します。
ネットワーク上のプリンターが一覧表示されます。表示に時間がかかることがあります。

4. 設定するプリンターをダブルクリックします。

参考 同じ製品名のプリンターを複数台接続した場合は、MACアドレスで識別できます。

5. 左のメニューから [ネットワークI/F] - [TCP/IP] - [基本] を選択します。
6. [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を設定します。



- 参考**
- セキュアなネットワークにプリンターを接続する場合は、固定アドレスを設定してください。
 - 続けて [TCP/IP] メニューでは、[DNS] でDNSの設定と [インターネット] でプロキシサーバーの設定もできます。

7. [送信] をクリックします。

関連情報

- ➔ [\[EpsonNet Configの起動 - Windows\] 14ページ](#)
- ➔ [\[EpsonNet Configの起動 - Mac OS X\] 14ページ](#)

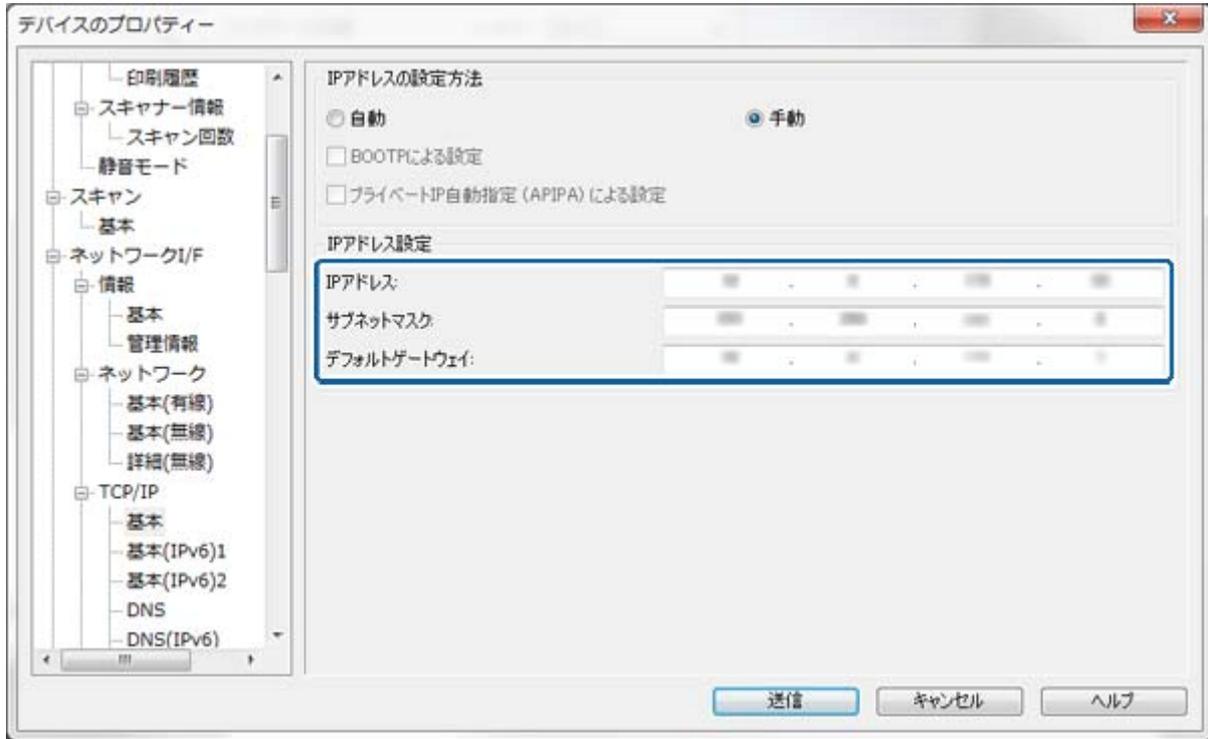
ネットワークインターフェイスを設定する - 無線LAN

EpsonNet ConfigでネットワークインターフェイスのIP アドレスを設定します。

1. プリンターの電源を入れます。
2. 一時的にLANケーブルでプリンターをネットワークに接続します。
3. EpsonNet Configを起動します。
ネットワーク上のプリンターが一覧表示されます。表示に時間がかかることがあります。
4. 設定するプリンターをダブルクリックします。

参考 同じ製品名のプリンターを複数台接続した場合は、MACアドレスで識別できます。
5. 左のメニューから [ネットワークI/F] - [TCP/IP] - [基本] を選択します。

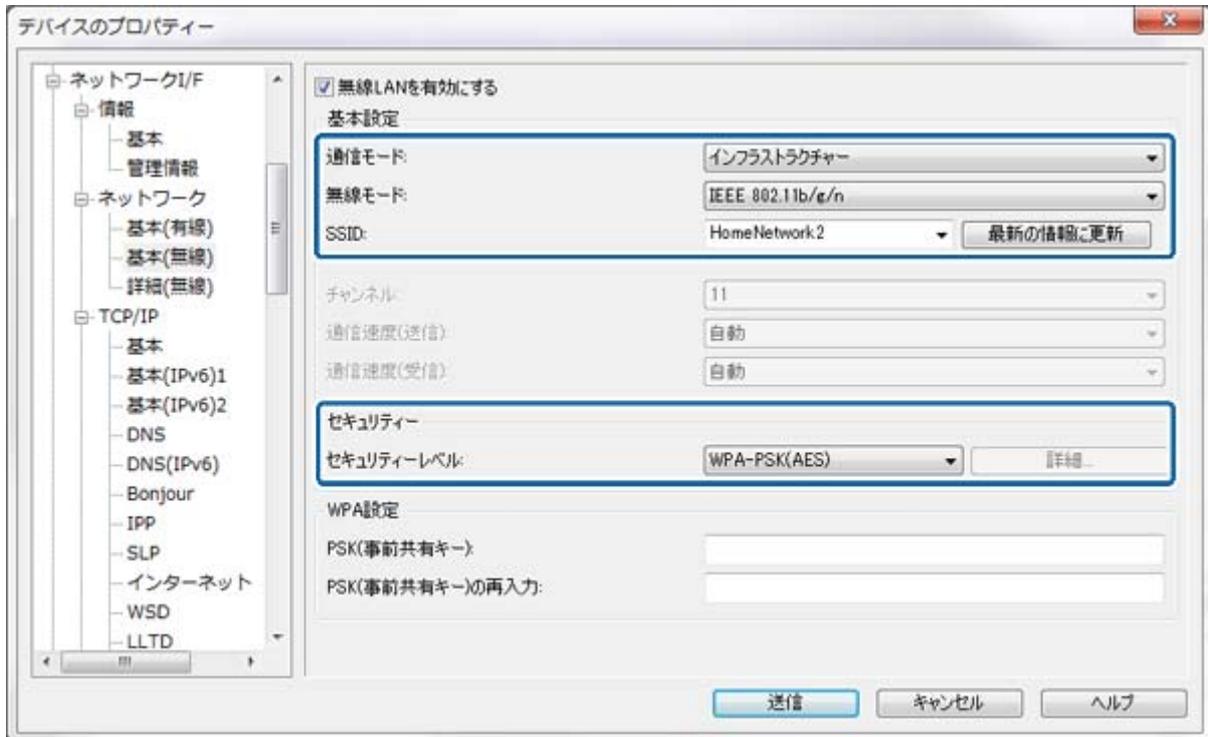
6. [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を設定します。



参考

- セキュアなネットワークにプリンターを接続する場合は、固定アドレスを設定してください。
- 続けて [TCP/IP] メニューでは、[DNS] でDNSの設定と [インターネット] でプロキシサーバーの設定もできます。

7. [ネットワークI/F] - [ネットワーク] - [基本(無線)] を選択し、通信モードやSSID、セキュリティーなどを設定します。



8. [送信] をクリックします。

LANケーブルは、プリンターとの接続が無線LANになったことを確認してから抜いてください。

関連情報

- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 14ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS X」 14ページ](#)

プリンターを接続するコンピューターの設定

プリンタードライバーをインストールする - Windows

コンピューターから印刷できるように、プリンタードライバーをインストールして印刷ポートを作成します。PostScript 対応のプリンターで、エプソンのPostScript プリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターのマニュアルをご覧ください。

1. プリンターの電源を入れます。
2. プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。
プリンタードライバーはプリンターに付属のソフトウェアディスクに収録されています。
 - 32ビット版Windows : ¥Driver¥Printer¥Driver¥WINX86¥setup
 - 64ビット版Windows : ¥Driver¥Printer¥Driver¥WINX64¥setup

Setup.exeまたはSetup64.exeをダブルクリックするとドライバーのインストールが開始されます。画面の指示に従ってインストールしてください。

参考 付属のソフトウェアディスクが無い場合や、コンピューターにディスクドライブが無い場合は、エプソンのホームページからダウンロードしてください。

関連情報

- ➔ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 有線LAN」 72ページ](#)
- ➔ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 無線LAN」 73ページ](#)
- ➔ [「利用者制限と管理者パスワードを設定する」 56ページ](#)
- ➔ [「プリンターの共有設定をする - Windows」 79ページ](#)

プリンタードライバーをインストールする - Mac OS X

コンピューターへのプリンター追加と、インターネット経由でプリンタードライバーのインストールをします。インターネットに接続できる環境でインストールを始めてください。

PostScript 対応のプリンターで、エプソンのPostScript プリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターのマニュアルをご覧ください。

1. プリンターの電源を入れます。
2. コンピューターで [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] を選択します。
3. [+] をクリックします。
4. [デフォルト] が選択されていることを確認し、リストから追加したいプリンターを選択します。
5. [ドライバ] から機種にあったプリンタードライバーを選択して、[追加] をクリックします。

プリンタードライバーが自動でダウンロードされ、プリンターが追加されます。

参考 • プリンタードライバーのダウンロードが開始されない場合は、エプソンのホームページからダウンロードしてください。なお、Mac OS X v10.5.8をお使いの場合は自動でダウンロードされないため、エプソンのホームページからダウンロードしてください。

- ドライバーに [AirPrint] や [Secure AirPrint] と付いたドライバーを指定すると、プリンタードライバーはインストールされません。

関連情報

- ➔ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 有線LAN」 72ページ](#)
- ➔ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 無線LAN」 73ページ](#)

スキャナーをネットワーク接続する

コンピューターにEPSON Scanをインストールして、ネットワーク上のスキャナーを使えるようにします。

1. EPSON Scanをインストールします。
 - Windows
プリンターに付属のソフトウェアディスクに収録されています。

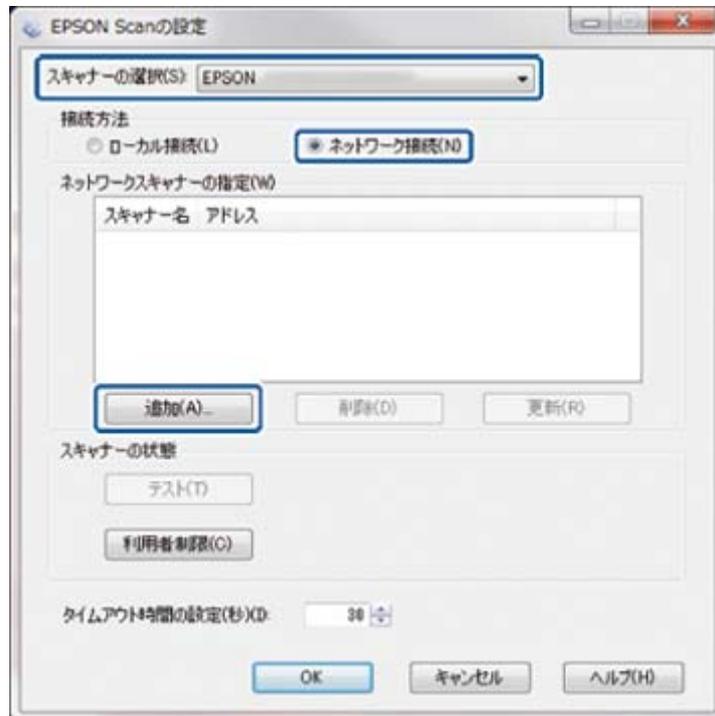
¥Driver¥Scanner¥Driver

- Mac OS X
EPSON Software Updater、またはエプソンのホームページからインストールしてください。
<http://epson.sn> > [ソフトウェアの追加]

2. EPSON Scanの設定を起動します。

- Windows
[すべてのプログラム] - [EPSON] - [EPSON Scan] - [EPSON Scanの設定] をクリックします。
- Mac OS X
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Scanの設定] をクリックします。

3. [スキャナーの選択] から目的のスキャナーを選択し、[接続方法] の [ネットワーク接続] をクリックします。



[追加] 画面が表示され、スキャナーが検索されます。

参考 [追加] 画面が表示されないときは、[EPSON Scanの設定] で [追加] をクリックしてください。

4. スキャナーのIPアドレスをクリックして [OK] をクリックします。

！重要 ルーターを越えた場所 (別セグメント) にあるスキャナーは検索できません。アドレスを直接指定して設定してください。

5. IPアドレスを選択して [テスト] をクリックします。

スキャナーとコンピューターが正しく接続されると、接続テスト成功のメッセージが表示されます。

6. [OK] をクリックします。

関連情報

➔ 「利用者制限と管理者パスワードを設定する」56ページ

外部メモリーをネットワークドライブとして共有する

外部メモリーをネットワークドライブとして共有する - Windows

1. 共有したい外部メモリーを持つプリンター名またはIPアドレスを確認します。
Web ConfigやEpsonNet Config、プリンターの操作パネルから確認できます。
2. [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. [名前] に確認したプリンター名を以下の書式で入力し、[OK] をクリックします。
¥¥ (プリンター名)、または¥¥XXX.XXX.XXX.XXX (プリンターのIPアドレス)
4. [memorycard] または [usbstorage] アイコンを右クリックして、[ネットワークドライブの割り当て] をクリックします。
5. 必要に応じて [ドライブ] リストから、割り当てたいドライブ名を選択します。

参考 コンピューターを起動する度にネットワークストレージを使用するときは、[ログオン時に再接続] をチェックしてください。

6. [完了] をクリックします。
割り当てたネットワークドライブは、[マイコンピュータ] (または [コンピュータ]) 内にハードディスクなどと同様に表示されます。

外部メモリーをネットワークドライブとして共有する - Mac OS X

1. [移動] - [サーバへ接続...] を選択します。
2. [サーバアドレス] 欄に確認したプリンター名を以下の書式で入力します。
cifs:// (プリンター名)、または
smb:// (プリンター名)
3. [接続] をクリックします。
4. マウントするボリュームを選択して [OK] をクリックします。

参考 プリンターから外部メモリーを取り出すときは、デスクトップにあるメモリーカードドライブアイコンなどをゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてから取り出さないと、別の外部メモリーをセットしたときに、共有ドライブの内容が正常に表示されないことがあります。

プリンターの共有設定をする - Windows

プリンターを共有する

プリンターを接続しているコンピューターをプリントサーバーとして利用する場合は、プリントサーバーにするコンピューターからプリンターの共有設定してください。

1. [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] を開きます。
2. プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。
3. [このプリンターを共有する] を選択して、[共有名] を入力します。
Windows Server 2012をお使いの場合は、[共有オプションの変更] をクリックしてから設定してください。

関連情報

➔ [「追加ドライバーをインストールする」79ページ](#)

追加ドライバーをインストールする

プリントサーバーのコンピューターとクライアントが異なるバージョンのWindowsで動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーのコンピューターにインストールしておく、クライアントコンピューターからドライバーを検索する必要がなくなります。

1. [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] を開きます。
2. 共有したいプリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。
3. [追加ドライバー] をインストールする
 Windows Server 2012をお使いの場合は、[共有オプションの変更] をクリックしてから設定してください。
4. クライアントのWindowsバージョン (OSタイプ) を選択して、[OK] をクリックします。

関連情報

➔ [「共有プリンターを使う」79ページ](#)

共有プリンターを使う

共有プリンターを使う - Windows

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順としてプリンターサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。追加ドライバーが設定されていない環境では、[デバイスとプリンター] からプリンターを追加する手順を案内してください。

以下は、プリンターサーバーに追加ドライバーが設定されている場合の手順です。

1. プリンターサーバーのコンピューター名を [エクスプローラー] で開きます。
2. 利用したいプリンターをダブルクリックします。

関連情報

- ➔ [「プリンターを共有する」 79ページ](#)
- ➔ [「追加ドライバーをインストールする」 79ページ](#)

共有プリンターを使う - Mac OS X

コンピューターへのプリンター追加と、インターネット経由でプリンタードライバーのインストールをします。インターネットに接続できる環境でインストールを始めてください。

PostScript 対応のプリンターで、エプソンのPostScript プリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターのマニュアルをご覧ください。

1. プリンターの電源を入れます。
2. コンピューターで [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] を選択します。
3. [+] をクリックします。
4. [デフォルト] が選択されていることを確認し、リストから追加したいプリンターを選択します。
5. [ドライバ] から機種にあったプリンタードライバーを選択して、[追加] をクリックします。

プリンタードライバーが自動でダウンロードされ、プリンターが追加されます。

参考

- プリンタードライバーのダウンロードが開始されない場合は、エプソンのホームページからダウンロードしてください。なお、Mac OS X v10.5.8をお使いの場合は自動でダウンロードされないため、エプソンのホームページからダウンロードしてください。
- ドライバに [AirPrint] や [Secure AirPrint] と付いたドライバーを指定すると、プリンタードライバーはインストールされません。